

## 資料編



## 資料編目次

1	諮問書 .....	1
2	2006 中野区政世論調査結果（抜粋） .....	3
3	2006 年度保健福祉に関する意識調査報告書(抜粋) .....	11
4	平成17年度児童・生徒の食生活に関する アンケート調査報告書(抜粋) .....	27
5	衛生管理チェックリスト（日常点検票） .....	39
6	平成18年度中野区学校給食標準献立の作成方針 .....	41
7	中野区食品安全委員会条例 .....	42
8	中野区食品安全委員会名簿 .....	43
9	中野区食品安全委員会起草委員会名簿 .....	44
10	中野区食品安全委員会審議経過 .....	45
11	起草委員会検討経過 .....	46
12	中野区食品安全委員会幹事名簿 .....	47



17 中保衛第 1412 号  
中野区食品安全委員会

中野区食品安全委員会条例第 2 条第 1 項の規定に基づき、  
下記のとおり諮問します。

平成 17(2005)年 11 月 7 日

中野区長 田中 大輔

記

諮問事項

「中野区の食品安全・安心確保対策のための基本方針」に  
盛り込むべき考え方について



# 2006中野区政世論調査

## Ⅱ 調査結果の詳細（抜粋）

1. コミュニティ（地域社会）

2. 働くこと

3. 生活意識

4. 食の安全・安心

5. 自転車の利用

6. 施策への要望

7. 生活環境の満足度

8. 定住意向

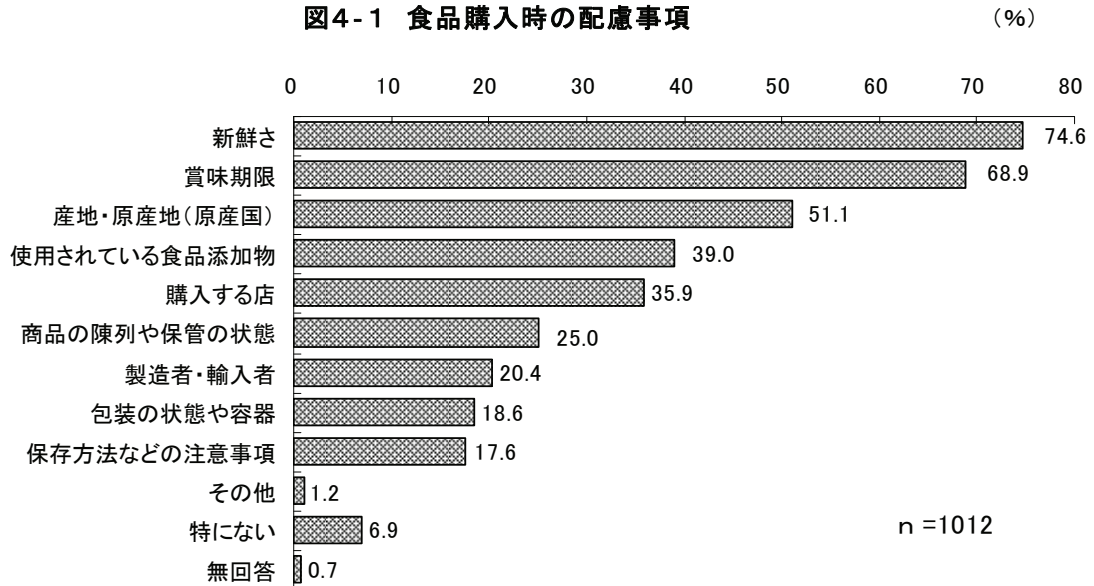
9. 「新しい中野をつくる10か年計画」に関する事項

## 4. 食の安全・安心

### (1) 食品購入時の配慮事項……トップは「新鮮さ」。「賞味期限」「産地・原産地」にも配慮

問14 あなたは食品を購入する場合、安全面でどのようなことに配慮しますか。(いくつでも○)

図4-1 食品購入時の配慮事項

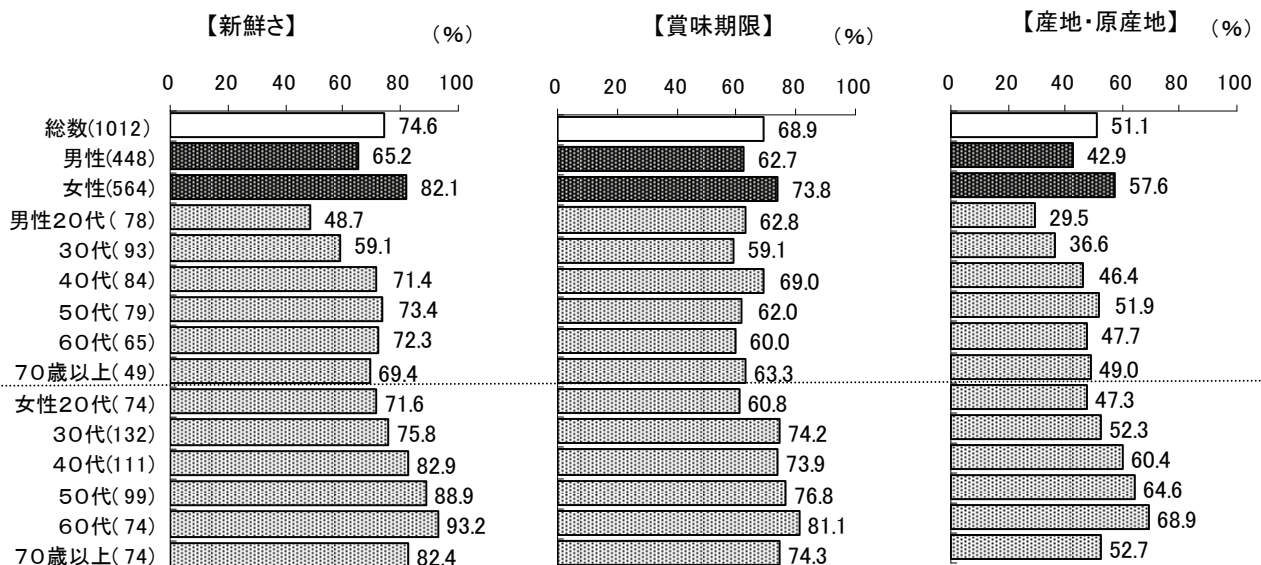


食品を購入する場合の安全面での配慮について複数回答(いくつでも)で尋ねた。

結果は「新鮮さ」が74.6%で最も高く、「賞味期限」(68.9%)、「産地・原産地(原産国)」(51.1%)と続いている。

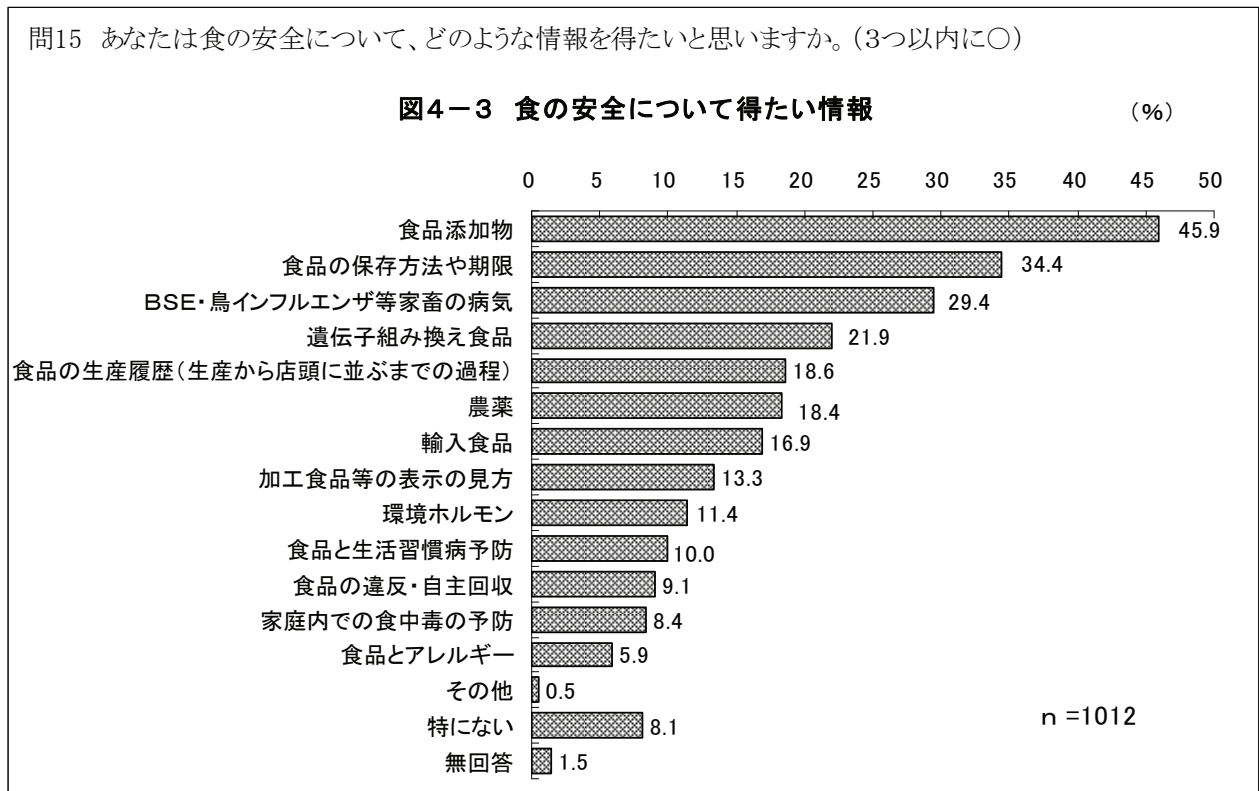
性・年代別でみると、上位3項目はいずれも男性に比べ女性の割合が高く、女性60代が「新鮮さ」「賞味期限」「産地・原産地」とともに高い。ほとんどの年代で「新鮮さ」がトップとなっているが、男性の20代は「賞味期限」がトップ、30代は「新鮮さ」と「賞味期限」が同率1位となっている。

図4-2 食品購入時の配慮事項 ー性・年代別ー (上位3項目)





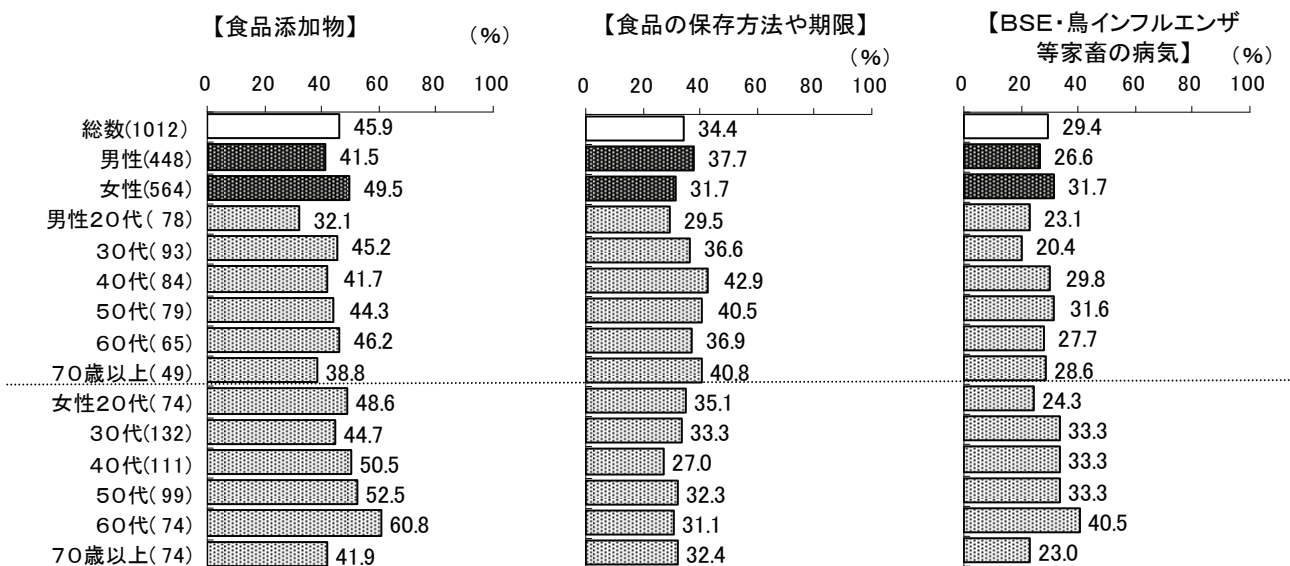
(2) 食の安全について得たい情報……トップは「食品添加物」



食の安全についてどのような情報を得たいかを複数回答（3つ以内）で尋ねた。結果は「食品添加物」が45.9%で最も高く、「食品の保存方法や期限」（34.4%）、「BSE・鳥インフルエンザ等家畜の病気」（29.4%）と続いている。

性・年代別でみると、「食品添加物」と「BSE・鳥インフルエンザ等家畜の病気」は女性60代が最も高い。また、「食品の保存方法や期限」は女性より男性が高く、男性40代が42.9%と最も高い。

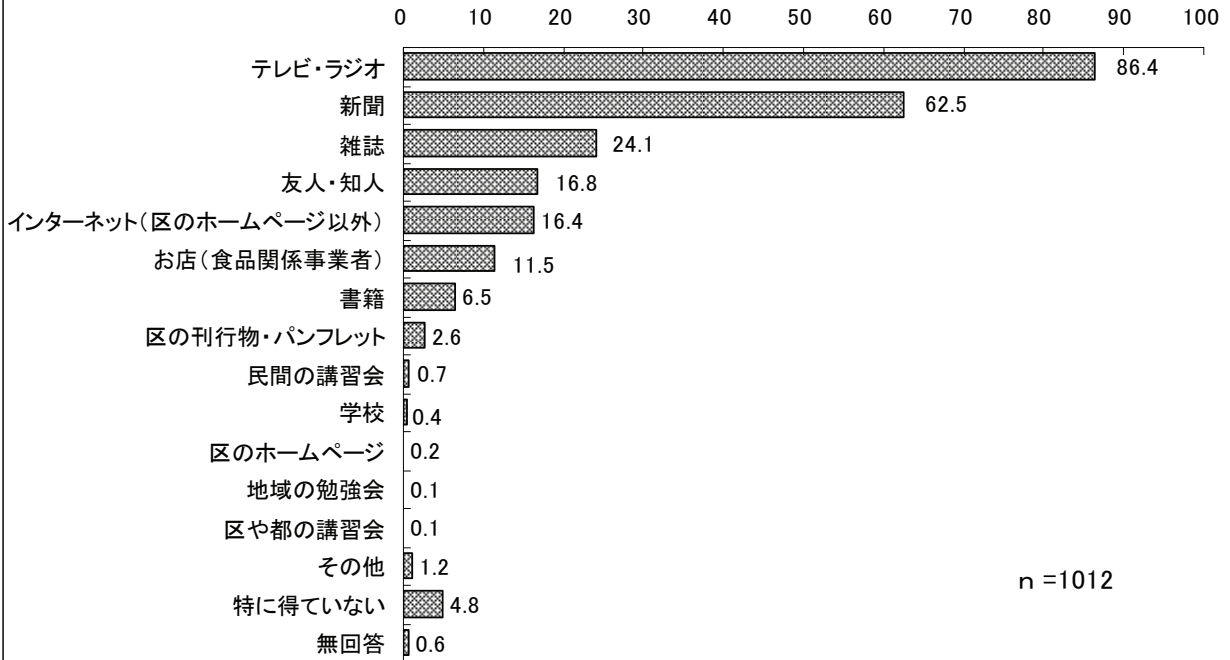
**図4-4 食の安全について得たい情報 ー性・年代別ー (上位3項目)**



(3) 食の安全に関する情報の入手方法……9割近くが「テレビ・ラジオ」より

問16 あなたは普段、食の安全に関する情報をどのような方法で知ることが多いですか。  
(3つ以内に○)

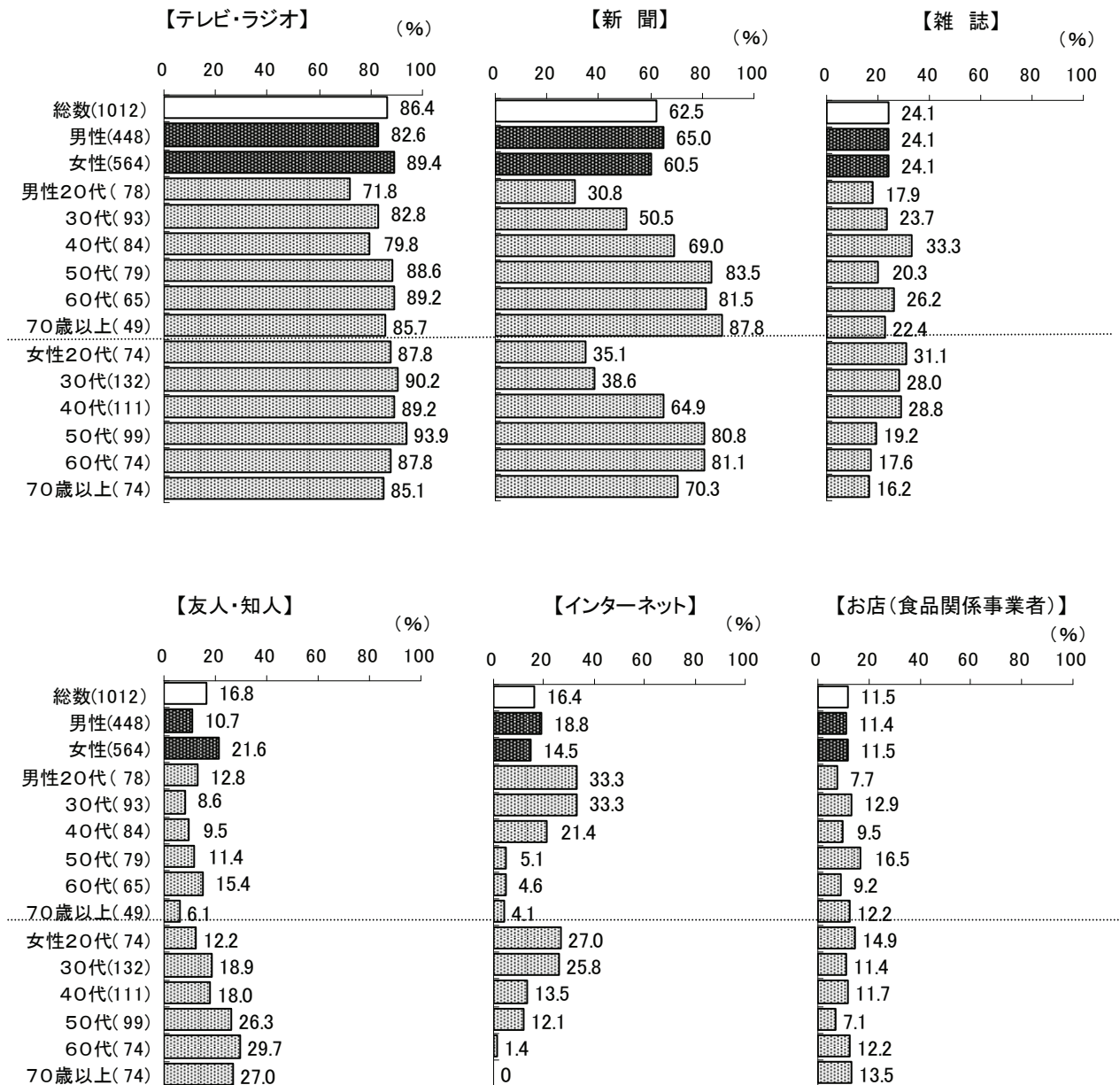
図4-5 食の安全に関する情報の入手方法 (％)



食の安全に関する情報をどのような方法で入手するかを複数回答（3つ以内）で尋ねた。結果はトップの「テレビ・ラジオ」（86.4%）と2位の「新聞」（62.5%）が他を大きく引き離している。

性・年代別で見ると、「テレビ・ラジオ」は男性20代が71.8%で他の年代に比べやや低い、その他の年代は8～9割程度と年代間による差はあまりない。「新聞」は年代による差が大きく若い世代が低い。「雑誌」は男性40代と女性20～40代が3割程度とやや高い。「友人・知人」は50代以降の女性が高く、「インターネット」は若い世代、特に男性20代・30代がいずれも33.3%と高い。

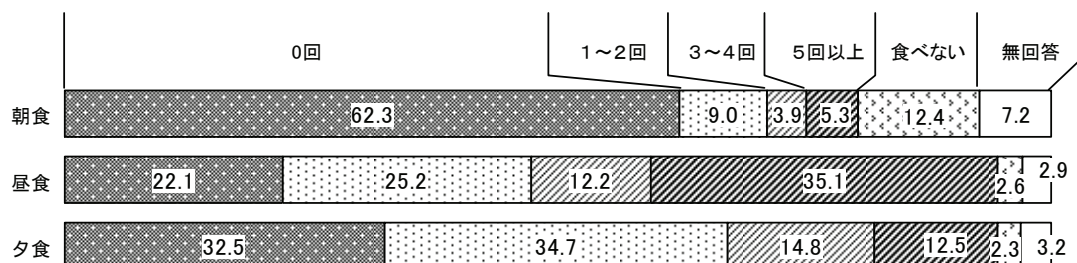
図4-6 食の安全に関する情報の入手方法 ー性・年代別ー (上位6項目)



(4) 1週間の外出回数……「朝食」0回 62.3%。一方「食べない」も12.4%

問17 あなたは最近1週間のうち、何回くらい外出(出前、市販の弁当を含む)をしましたか。朝食、昼食、夕食ごとにそれぞれあてはまるものに○をつけてください。  
 食べる習慣がない場合は「食べない」の欄に○をしてください。

図4-7 1週間の外出回数



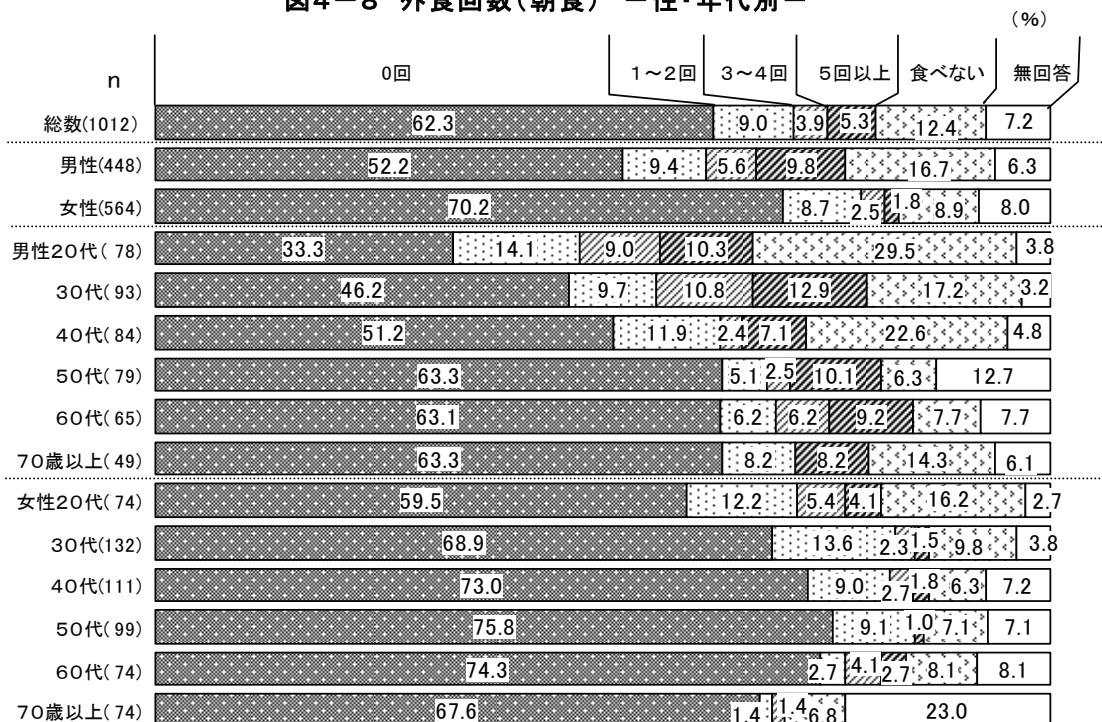
最近1週間の外出回数について朝食、昼食、夕食についてそれぞれ尋ねた。

「朝食」では0回の62.3%が最も割合が高く、『外出をした(「1~2回」「3~4回」「5回以上」の計)』は18.2%であった。「昼食」では5回以上の35.1%が最も高く、『外出をした』は72.5%であった。「夕食」では1~2回の34.7%が最も高く、『外出をした』は62.0%であった。一方、「食べない」と答えた割合は「朝食」の12.4%が最も高かった。

性・年代別でみると、「朝食」では外出が「0回」と答えた割合は男女間では女性が高く、女性50代の75.8%がトップで20代でも59.5%であった。男性では、20代が33.3%と全体で最も低く、30代、40代がこれに次いでいる。

また、朝食を「食べない」と答えた割合が最も高いのは、男性20代の29.5%で40代でも22.6%を占めている。

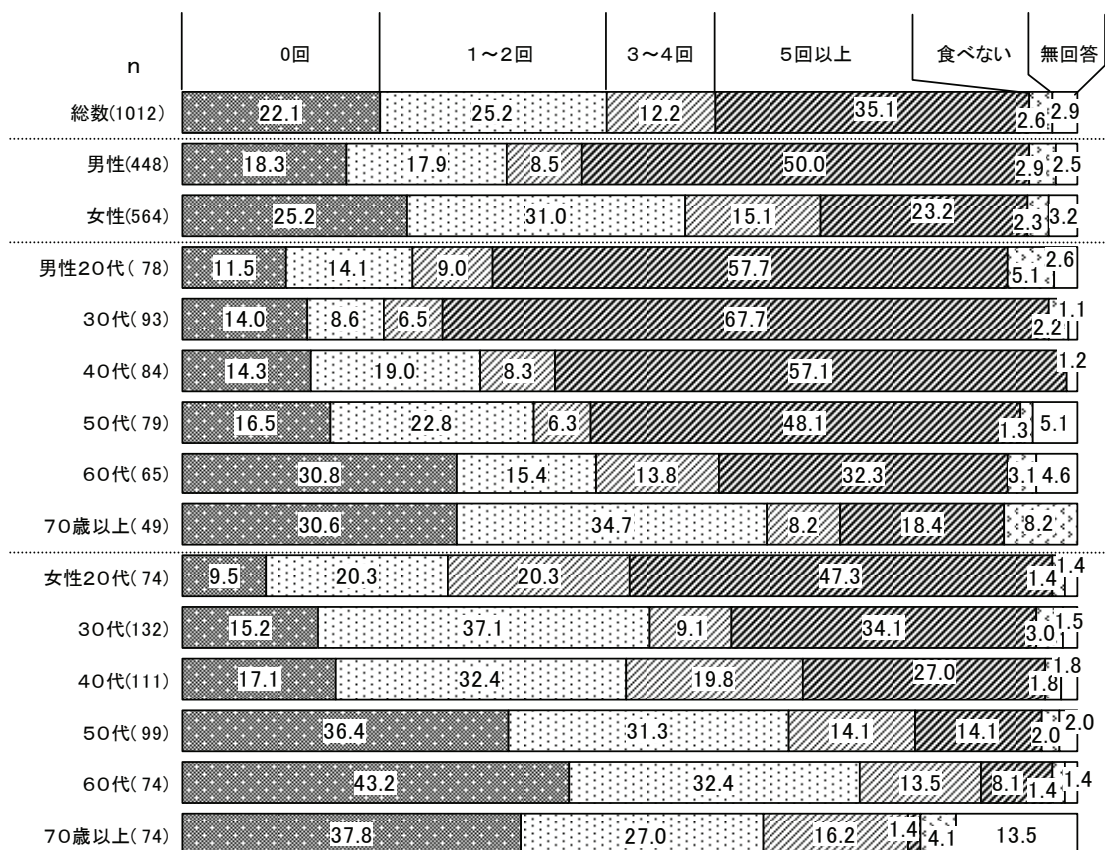
図4-8 外出回数(朝食) - 性・年代別 -



昼食の外出回数を性・年代別で見ると、昼食の外出回数として全体で最も割合の高かった「5回以上」は、男性30代の67.7%がトップで、これを含め男性の20～40代が5割を超えている。一方、女性で「5回以上」と答えた割合は、20代女性の47.3%をトップに年代が上がるにつれて減少傾向にある。

また、昼食の外出回数が「0回」と答えた割合が高かったのは、男性60代以降と女性50代以降で、ともに3割を超え、女性60代の43.2%が最も高い。

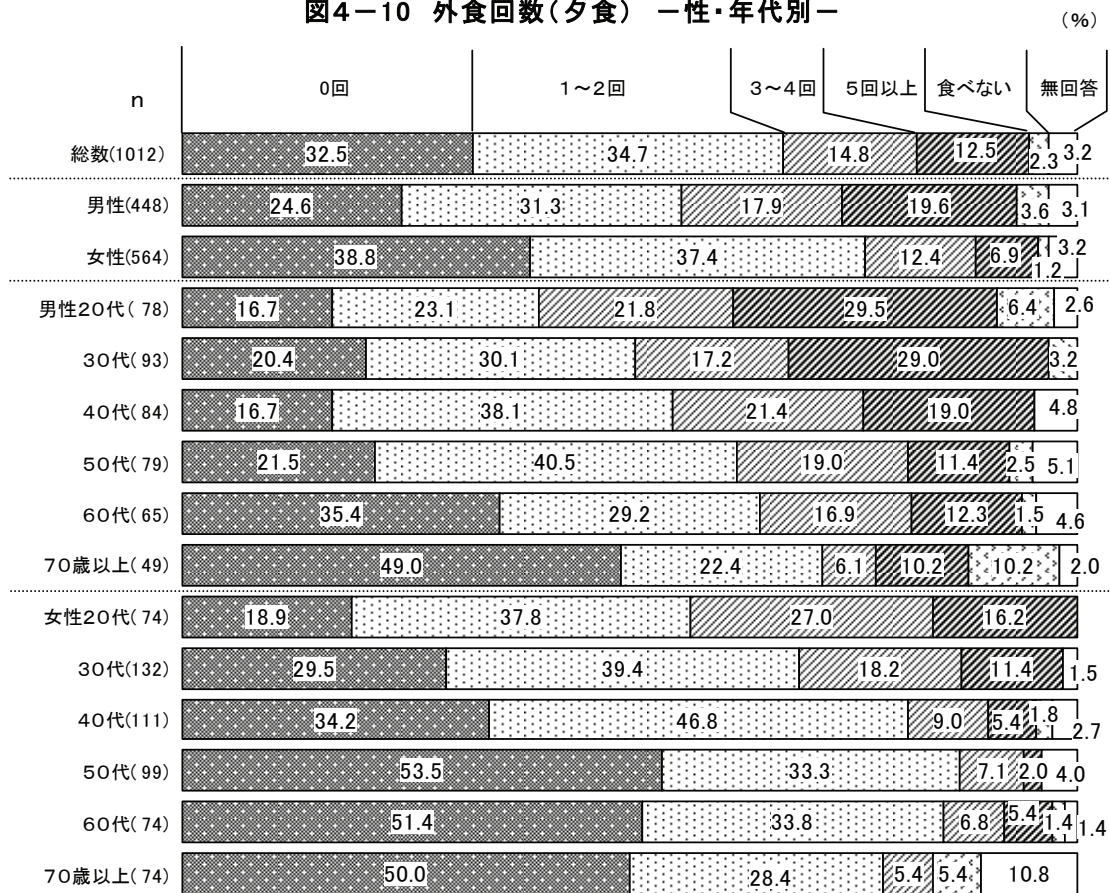
図4-9 外出回数(昼食) - 性・年代別 -



夕食の外出回数を性・年代別で見ると、夕食の外出回数として全体で最も割合が高かった「1～2回」は、女性40代の46.8%がトップだった。外出回数が「5回以上」では、男性20代・30代が3割程度と多い。

また、「0回」と答えた人は男性では70歳以上と女性50代～70歳以上が5割前後で多く、逆に男性20代～50代と女性20代が比較的少ない。

図4-10 外出回数(夕食) -性・年代別-



2006年度  
保健福祉に関する意識調査  
報 告 書  
(抜粋)

### 3 . 食生活・食育

#### ( 1 ) 食育

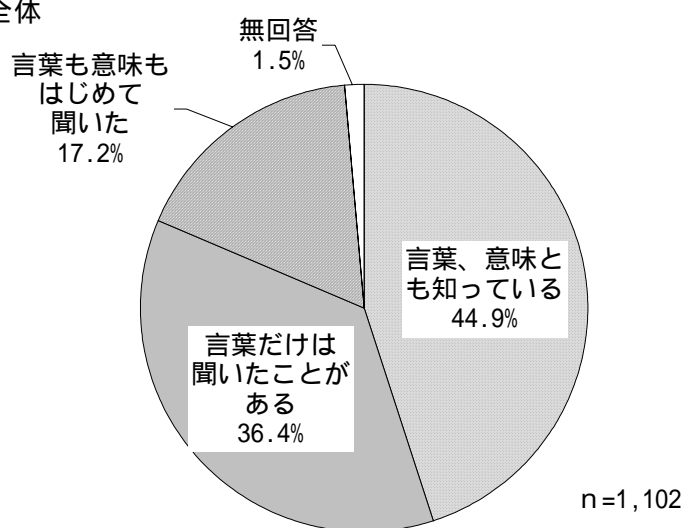
言葉を聞いたことがある人は8割超

( 全員の方に )

問17 . 乳幼児期からの正しい食事の摂り方や望ましい食習慣の定着、食を通じた豊かな人間性の形成・家族関係づくりによる心身の健全育成を図るための「食育」の取組みがさまざまに進められています。「食育」についてどの程度ご存じですか。

( 1 つ )

< 図 3 - 1 > 全体



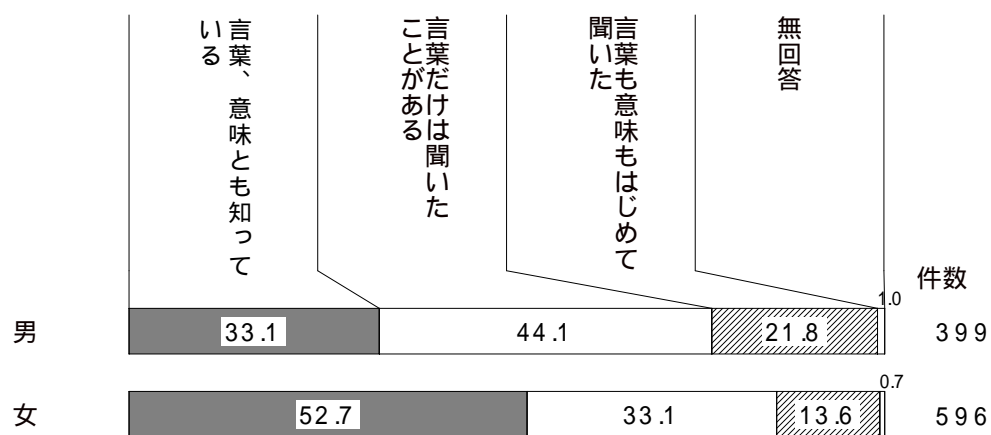
食育について聞いたところ、「言葉、意味とも知っている」( 44.9% ) が最も多く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」( 36.4% ) 、 「言葉も意味もはじめて聞いた」( 17.2% ) の順番になっている。( 図 3 - 1 )

性別でみると、「言葉、意味とも知っている」は女性( 52.7% ) で 5 割を超え、男性( 33.1% ) よりも 19.6 ポイント多くなっている。( 図 3 - 2 )

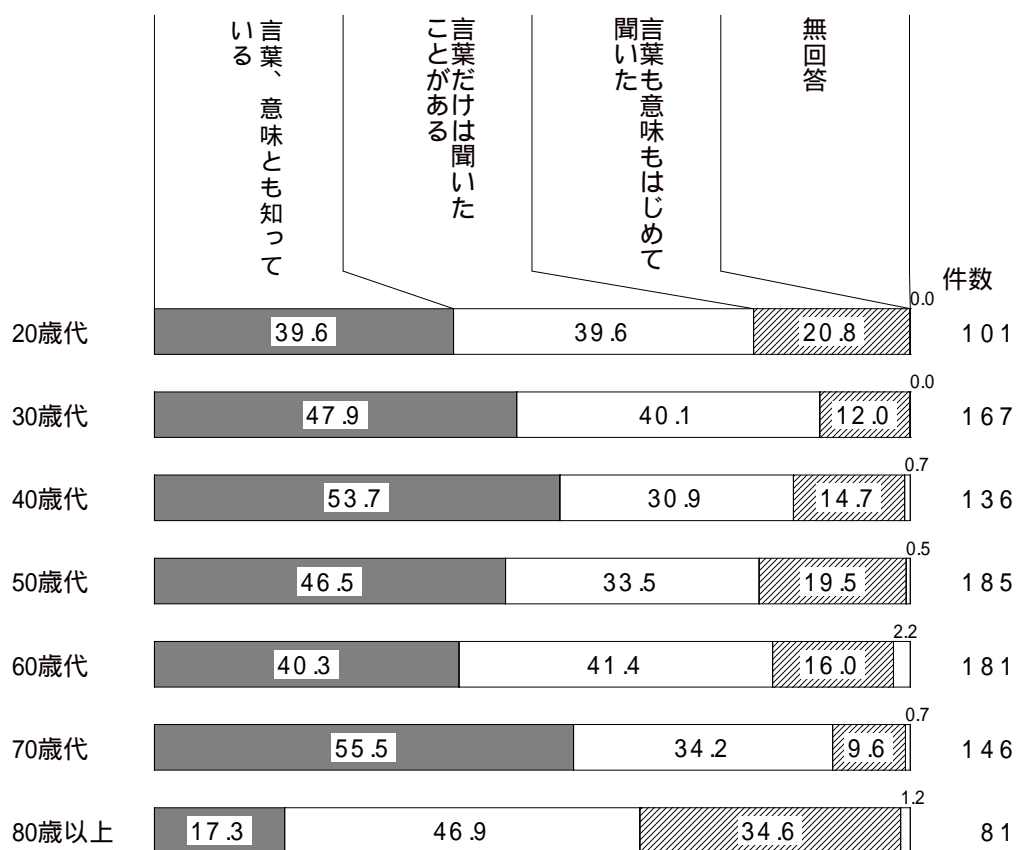
年齢別でみると、「言葉、意味とも知っている」は 70 歳代( 55.5% ) 、 40 歳代( 53.7% ) で 5 割を超え多くなっている。( 図 3 - 3 )



< 図 3 - 2 > 性別



< 図 3 - 3 > 年齢別



## (2) 朝食の摂取状況

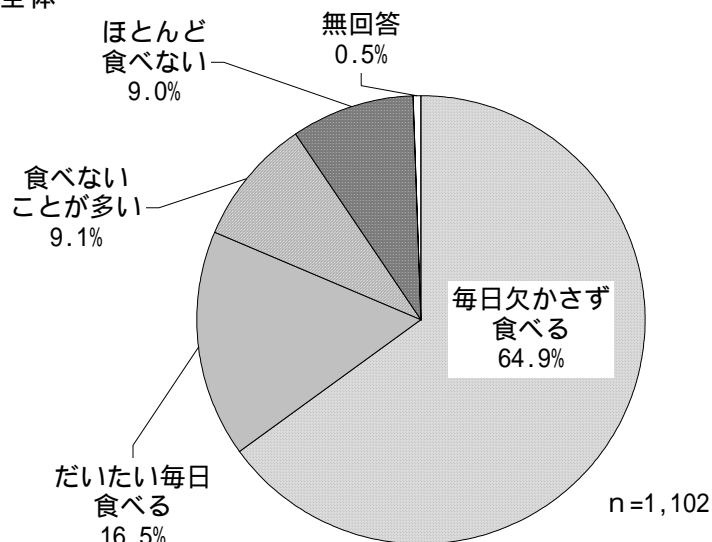
毎日は食べない(計)は約2割

(全員の方に)

問18. あなたは、毎朝朝食を食べますか。( は1つ)

菓子・果物・乳製品・嗜好飲料などの食品のみの場合、またはサプリメントや栄養ドリンク剤など補助食品のみの摂取の場合は食べていることに含めません。

<図3-4> 全体



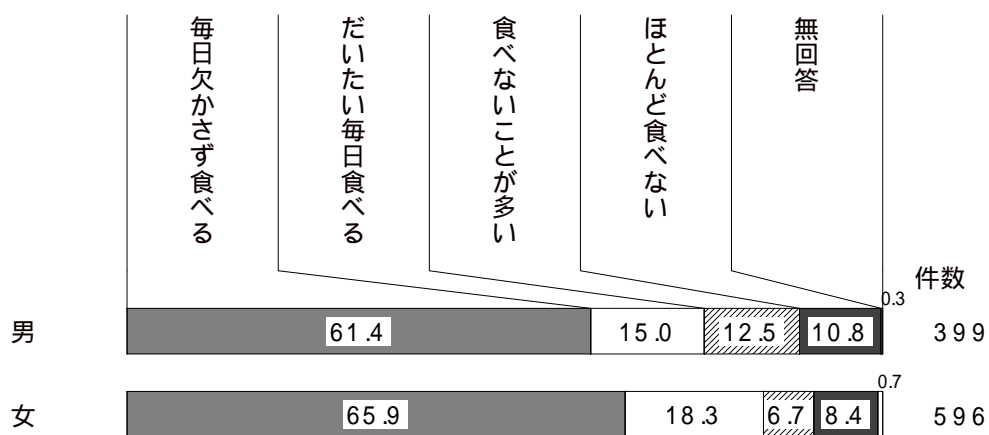
朝食の摂取状態について聞いたところ、「毎日欠かさず食べる」(64.9%)が最も多く、次いで「だいたい毎日食べる」(16.5%)、「食べないことが多い」(9.1%)、「ほとんど食べない」(9.0%)の順番になっている。また、「食べないことが多い」あるいは「ほとんど食べない」と答えた人を毎日は食べない(計)とすると18.1%であった。(図3-4)

性別でみると、毎日は食べない(計)は男性で2割を超えている。(図3-5)

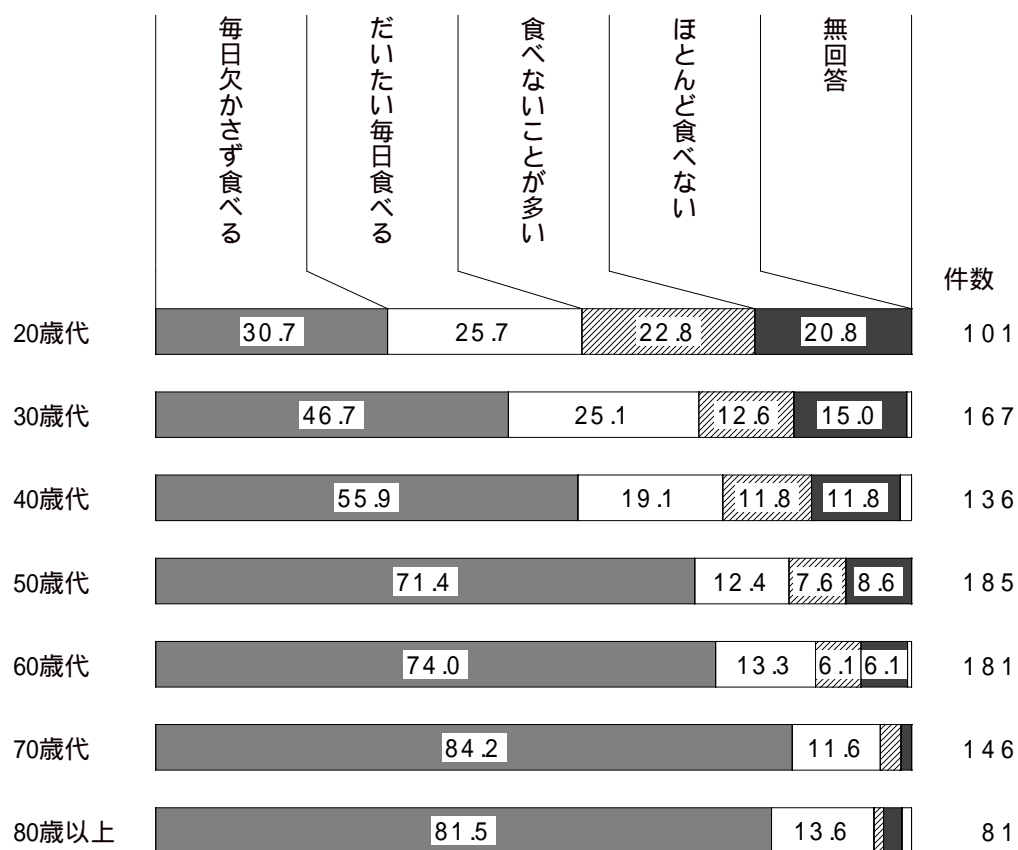
年齢別でみると、「毎日欠かさず食べる」は50歳代以上で7割を超えている。毎日は食べない(計)は20歳代で4割を超え多くなっている。(図3-6)

世帯構成別でみると、毎日は食べない(計)は1人世帯で3割弱と多くなっている。(図3-7)

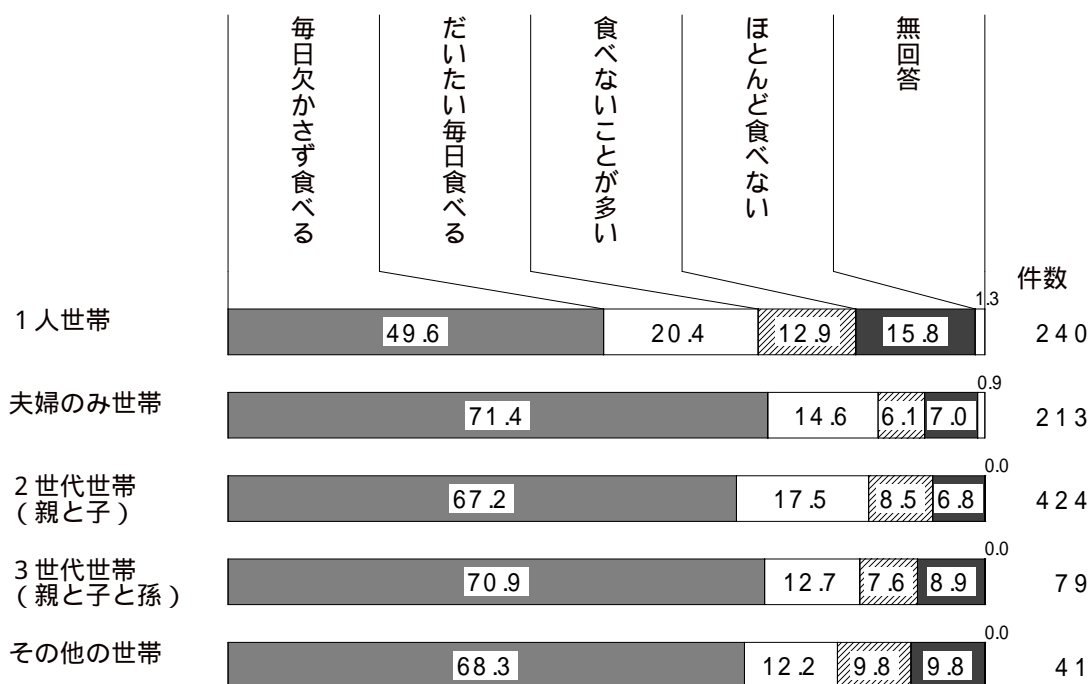
< 図 3 - 5 > 性別



< 図 3 - 6 > 年齢別



< 図 3 - 7 > 世帯構成別



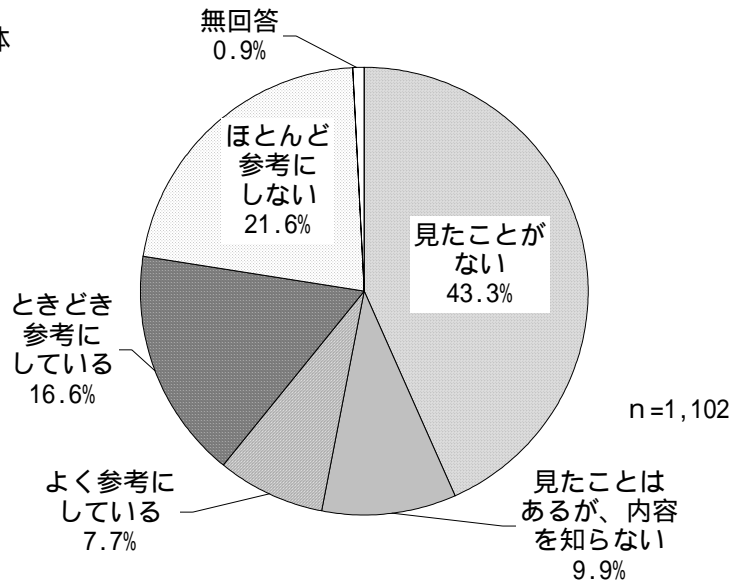
### (3) 食事バランスガイド

参考にしている人は4人に1人

(全員の方に)

問19. あなたは、下に示したコマ型の「食事バランスガイド」(113ページ参照)を参考にしてメニューを考えたり、選んだりしていますか。( は1つ)

<図3-8> 全体



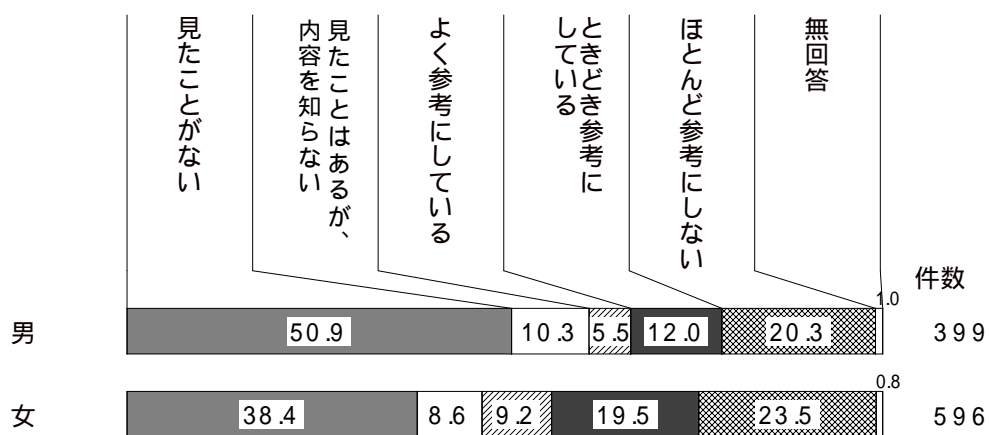
食事バランスガイドについて聞いたところ、「見たことがない」(43.3%)が最も多く、次いで「ほとんど参考にしない」(21.6%)、「ときどき参考にしている」(16.6%)、「見たことはあるが、内容を知らない」(9.9%)、「よく参考にしている」(7.7%)の順番になっている。

また、「よく参考にしている」あるいは「ときどき参考にしている」と答えた人を、何らか参考にしている(計)とすると24.3%であった(図3-8)

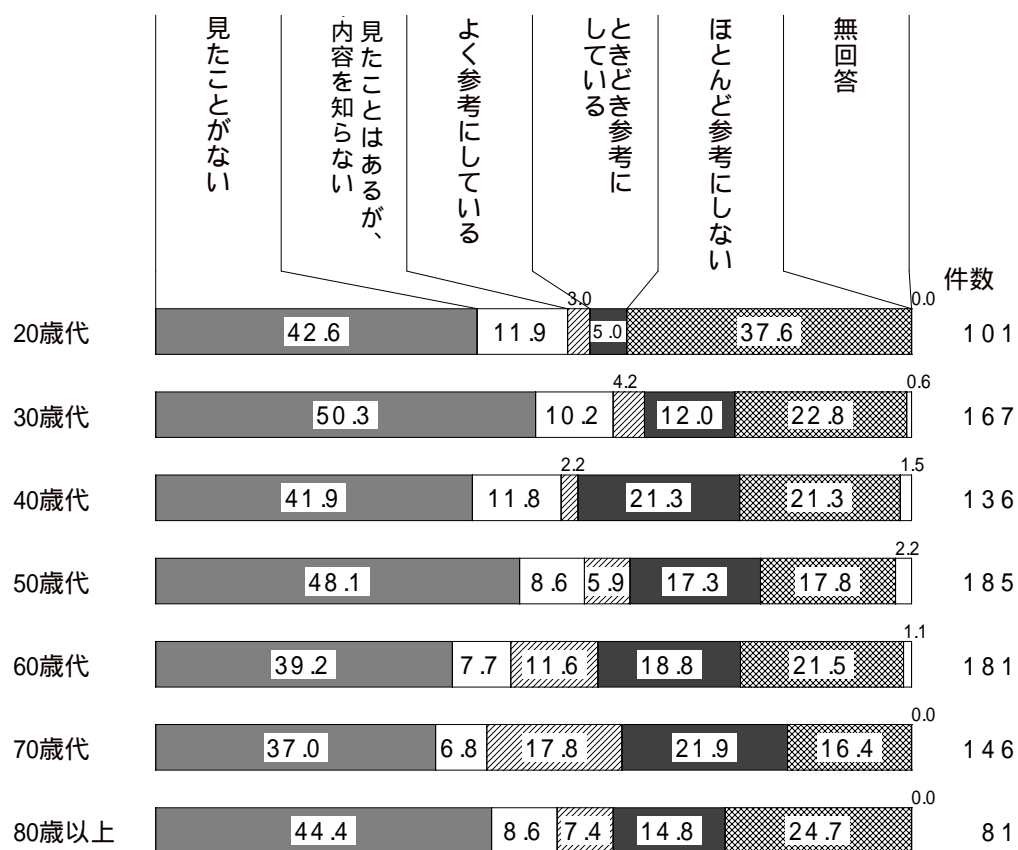
性別でみると、「見たことがない」は男性(50.9%)で5割を超え多くなっている。(図3-9)

年齢別でみると、「ほとんど参考にしない」は20歳代(37.6%)で3割半ばを超え多く、何らか参考にしている(計)は70歳代で約4割と多くなっている。(図3-10)

< 図 3 - 9 > 性別



< 図 3 - 10 > 年齢別



#### (4) サプリメントの使用頻度

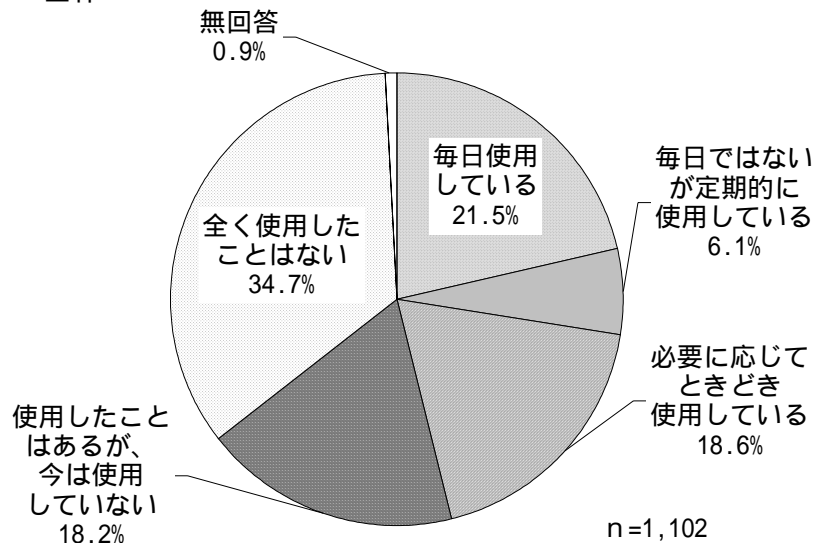
定期的な使用(計)をしている人は2割台半ば

(全員の方に)

問20. サプリメントとは、英語で「補給」という意味で、食事だけでは不足しがちなビタミンやミネラルなどの特定の栄養素を補うための食品のことを言い、「栄養補助食品」とも呼ばれています。あなたは現在サプリメントを使用していますか。

( は1つ)

<図3-11> 全体

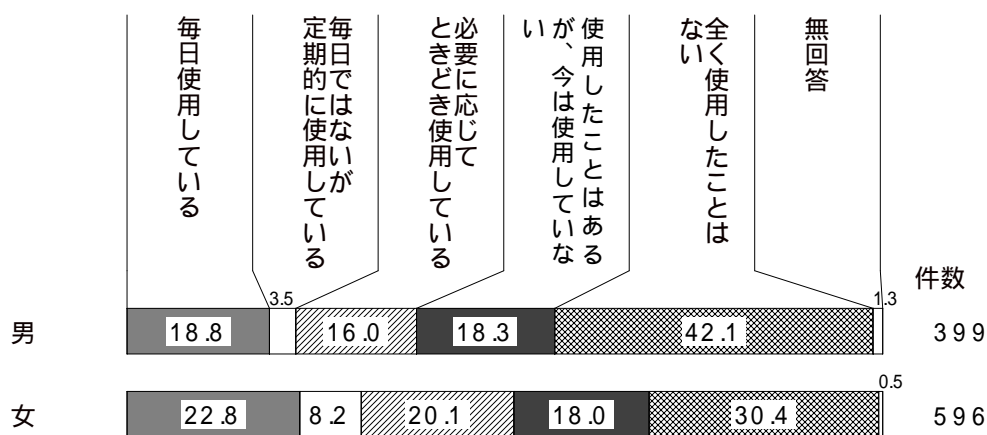


サプリメントについて聞いたところ、「全く使用したことはない(34.7%)」が最も多く、次いで「毎日使用している」(21.5%)、「必要に応じてときどき使用している」(18.6%)、「使用したことはあるが、今は使用していない」(18.2%)、「毎日ではないが定期的に使用している」(6.1%)の順番になっている。また、「毎日使用している」あるいは「毎日ではないが定期的に使用している」と答えた人を定期的な使用(計)とすると27.6%であった。(図3-11)

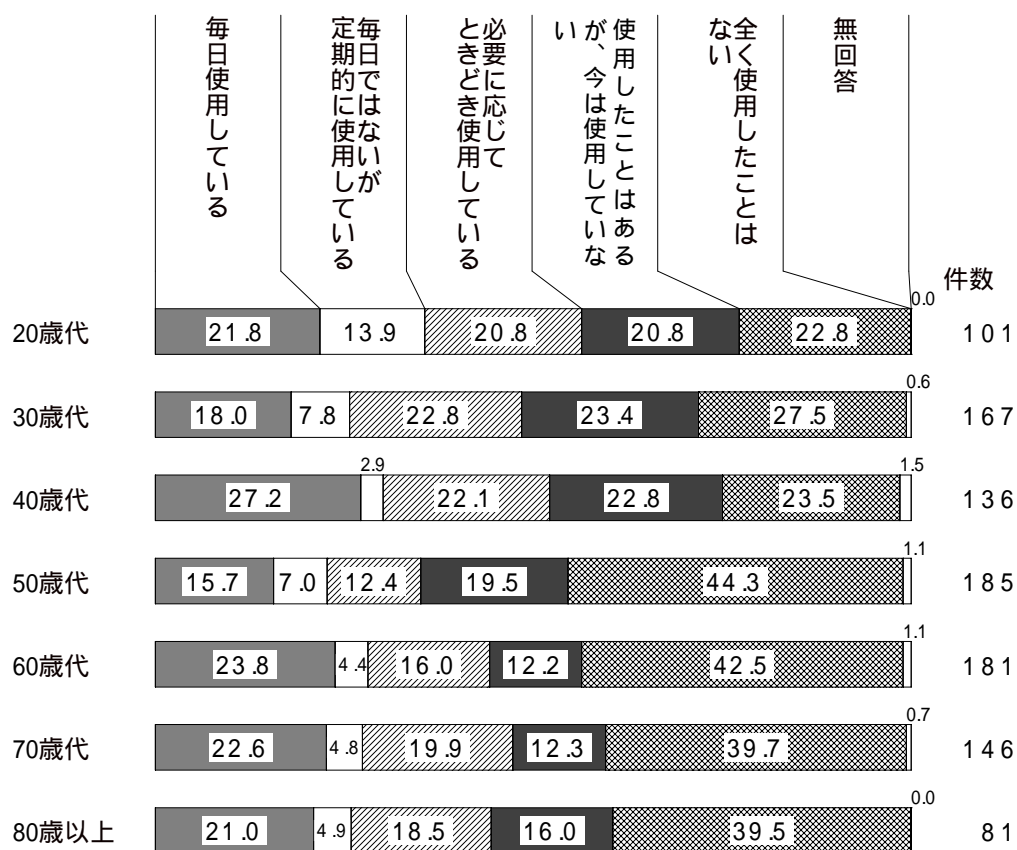
性別でみると、「全く使用したことはない」は男性(42.1%)で4割を超え多くなっている。また、「毎日使用している」「毎日ではないが定期的に使用している」「必要に応じてときどき使用している」と答えた人を何らかで使用している(計)とすると、女性(51.1%)で5割を超えている。(図3-12)

年齢別でみると、「毎日使用している」は40歳代が2割半ばを超え最も多くなっている。(図3-13)

< 図 3 - 12 > 性別



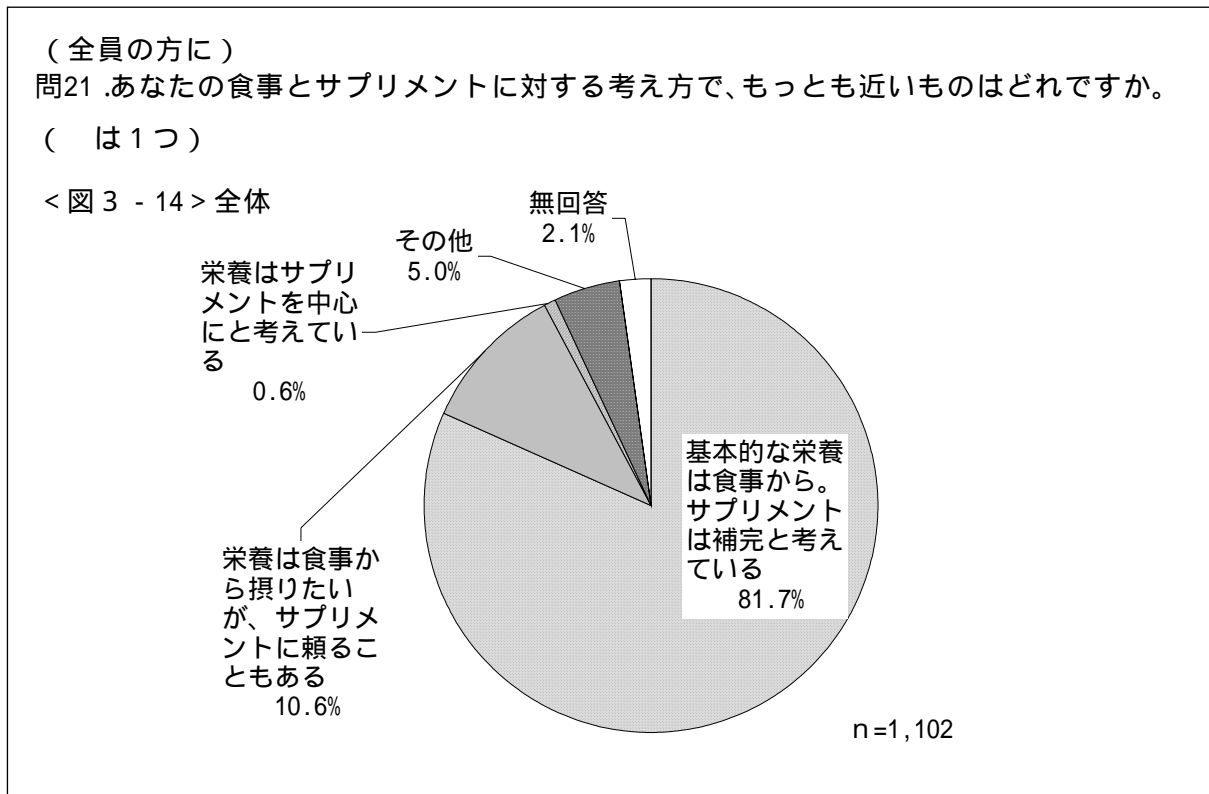
< 図 3 - 13 > 年齢別





## (5) 食事とサプリメントに対する考え方

『基本的な栄養は食事から。サプリメントは補完と考えている』が約8割

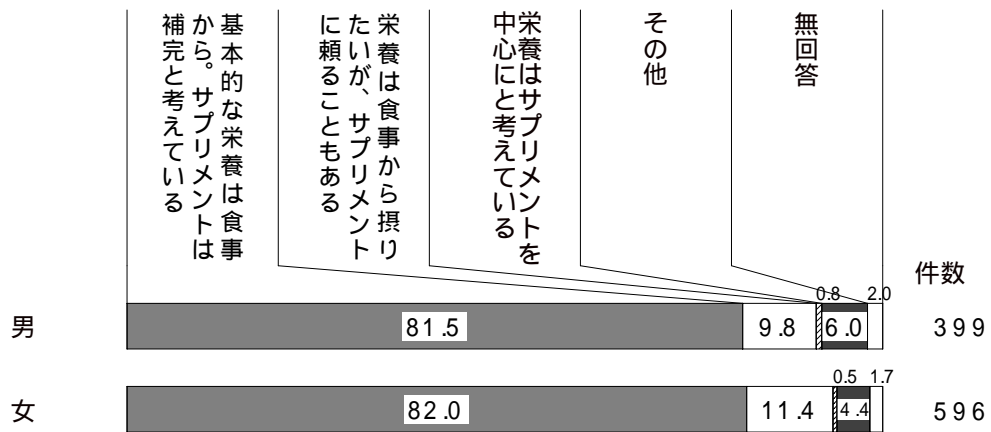


食事とサプリメントに対する考え方について聞いたところ、「基本的な栄養は食事から。サプリメントは補完と考えている」(81.7%)が最も多く、次いで「栄養は食事から摂りたいが、サプリメントに頼ることもある」(10.6%)の順番になっている。(図3 - 14)

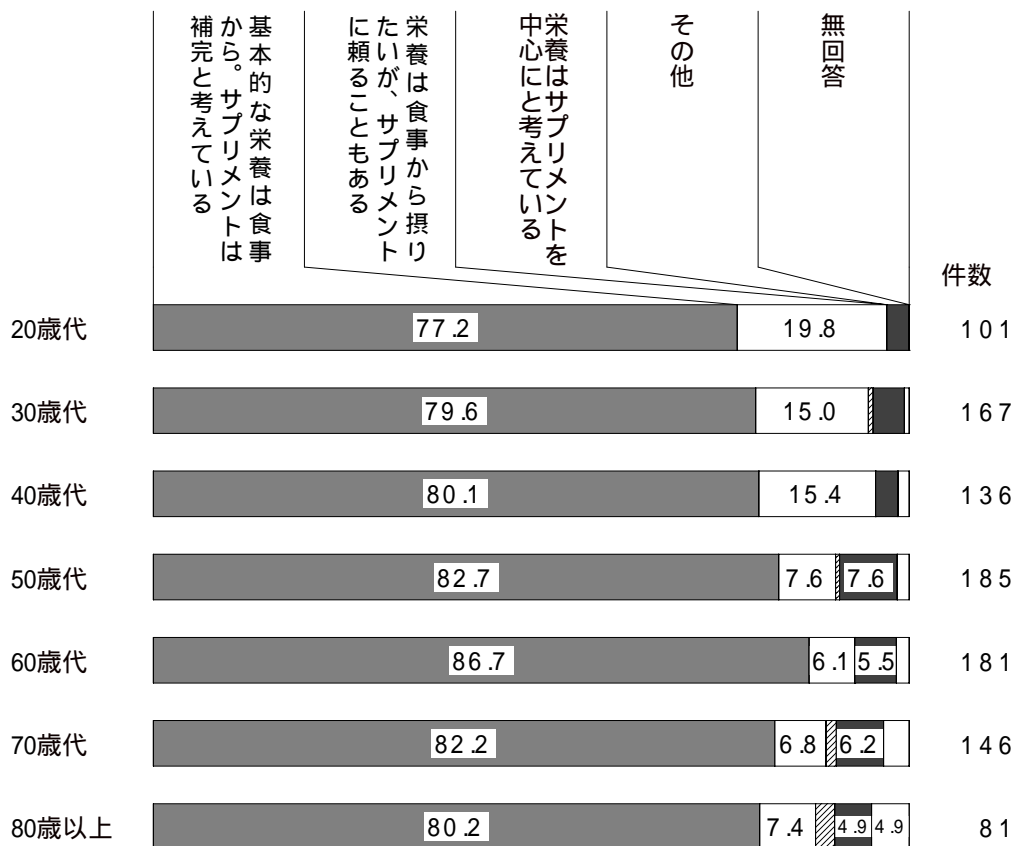
性別でみると、性別による差は見られない。(図3 - 15)

年齢別でみると、「栄養は食事から摂りたいが、サプリメントに頼ることもある」は20歳代(19.8%)が2割近くで多くなっている。(図3 - 16)

< 図 3 - 15 > 性別



< 図 3 - 16 > 年齢別



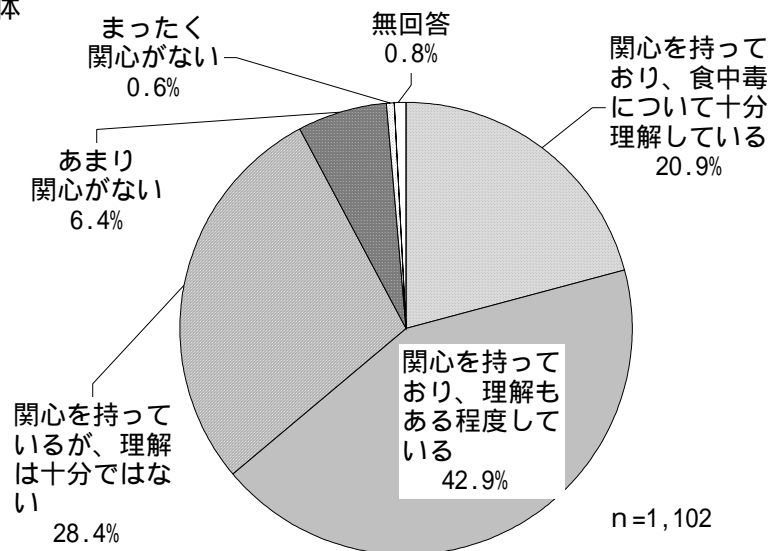
## (6) 食中毒に関する認識

関心がないあるいは、理解が十分でない人が3割台半ば

(全員の方に)

問22. 食の安全確保は食育を考えるうえで欠かすことができません。そのためには食品の特性や食中毒などに対する正しい理解が必要です。あなたの**食中毒**に関する認識に最も近いものはどれですか。( は1つ)

<図3-17> 全体



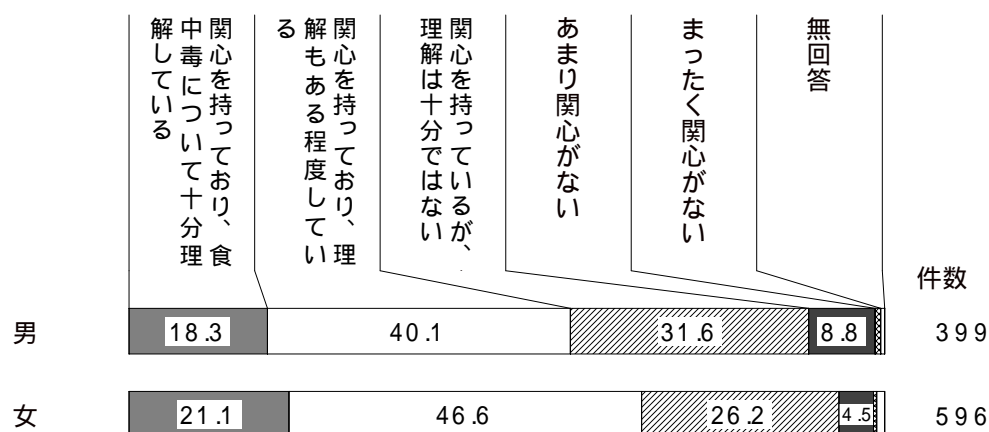
食中毒に関する認識について聞いたところ、「関心を持っており、理解もある程度している」(42.9%)が最も多く、次いで「関心を持っているが、理解は十分ではない」(28.4%)、「関心を持っており、食中毒について十分理解している」(20.9%)、「あまり関心がない」(6.4%)、「まったく関心がない」(0.6%)の順番になっている。(図3-17)

性別でみると、「関心を持っており、食中毒について十分理解している」あるいは「関心を持っており、理解もある程度している」と答えた人を理解している(計)とすると、女性(67.7%)で6割半ばを超えている。(図3-18)

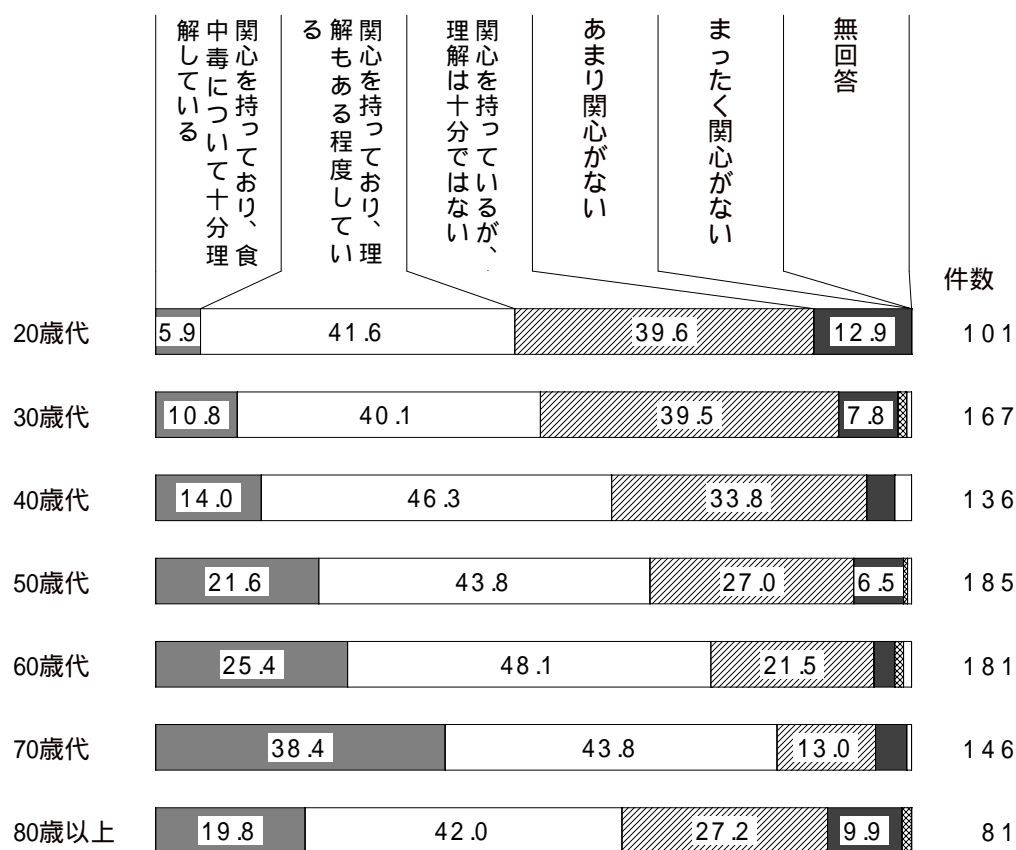
年齢別でみると、「関心を持っているが、理解は十分ではない」は20歳代(39.6%)、30歳代(39.5%)が4割近くで多く、何らかの理解のある人は、年代が上がるにつれ増えている。(図3-19)

職業別でみると、「関心を持っており、理解もある程度している」は家事専業(54.1%)が5割半ば近くで最も多く、「関心を持っているが、理解は十分ではない」は常勤の会社員・契約社員、公務員、団体職員(38.6%)で3割半ばを超え多くなっている。(図3-20)

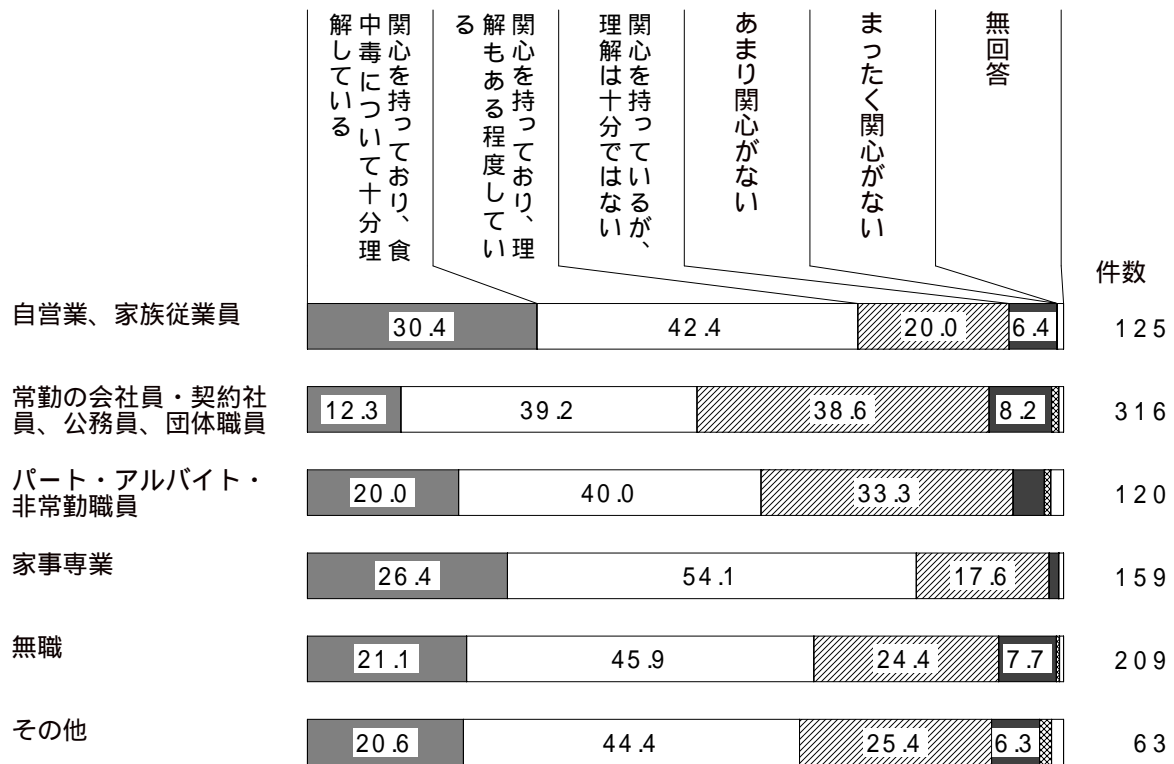
< 図 3 - 18 > 性別



< 図 3 - 19 > 年齢別



< 図 3 - 20 > 職業別





平成17年度

児童・生徒の食生活に関するアンケート調査報告書

(抜粋)

平成17(2005)年10月

中野区教育委員会事務局学校教育担当

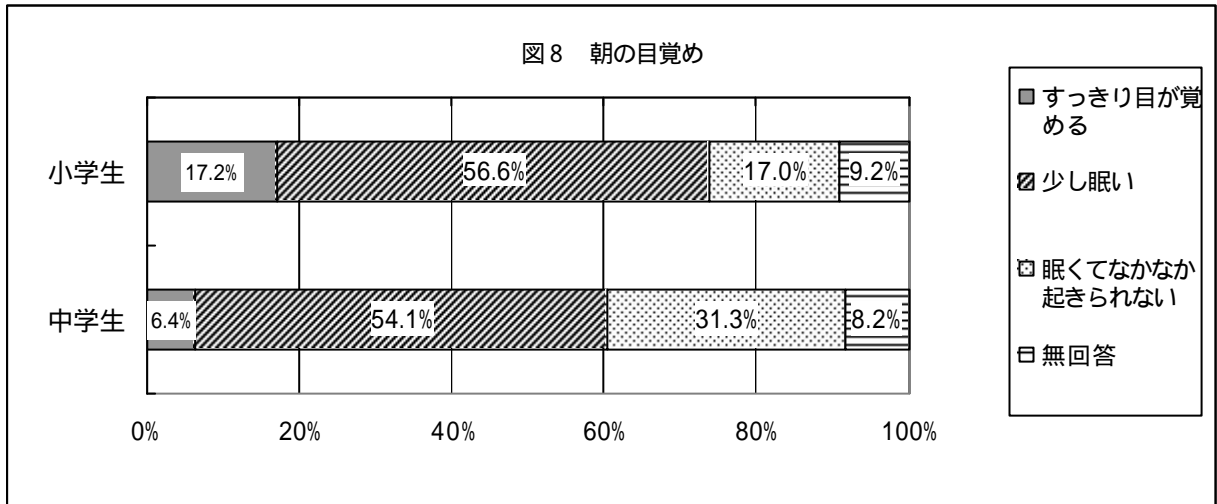
**問8 あなたは、朝、目がすっきり覚めますか。**

小・中学生とも「少し眠い」の割合が最も高く、ともに5割を超えている。

「すっきり目が覚める」の割合は、小学生では17.2%であるが、中学生では6.4%と中学生の割合が低くなっている。

また、中学生では、「眠くてなかなか起きられない」の割合が3割を超えている。

なお、前問3で「睡眠を充分にとる」ことを心がけている小学生は50.5%、中学生は38.4%みられるが、「すっきり目が覚める」のは、小学生17.2%、中学生6.4%である。



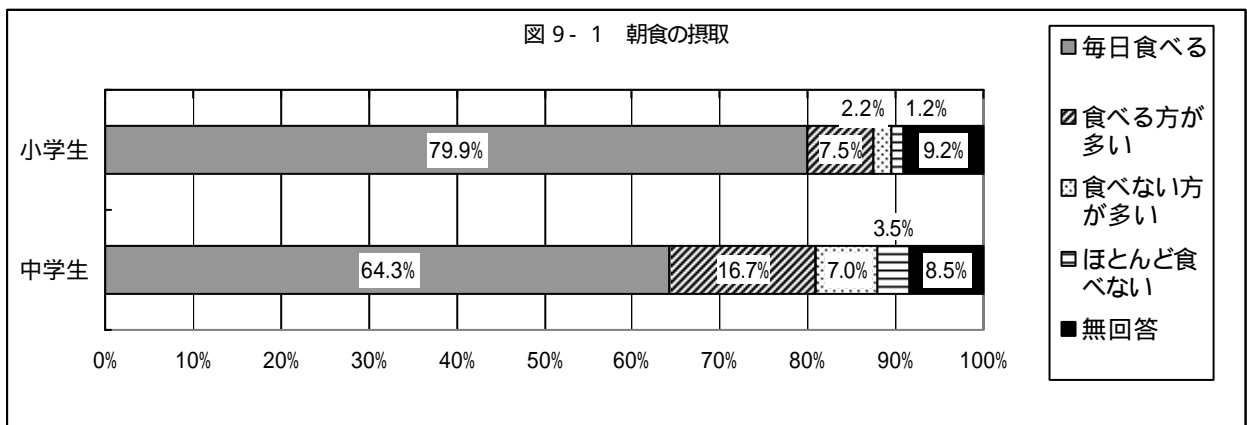
**5【食事について】**

**問9 - 1 あなたは、朝食を毎日食べますか。**

「毎日食べる」の割合は、小学生79.9%、中学生64.3%である。

一方、「毎日食べる」以外の項目、「食べる方が多い」、「食べない方が多い」、「ほとんど食べない」を合わせた割合は、小学生は10.9%、中学生は27.2%で、朝食摂取の習慣の定着が中学生になると低くなる傾向がみられる。

また、前問3と比較すると、実際に「毎日食べる」は、意識している割合よりも小学生は増加、中学生は減少している。

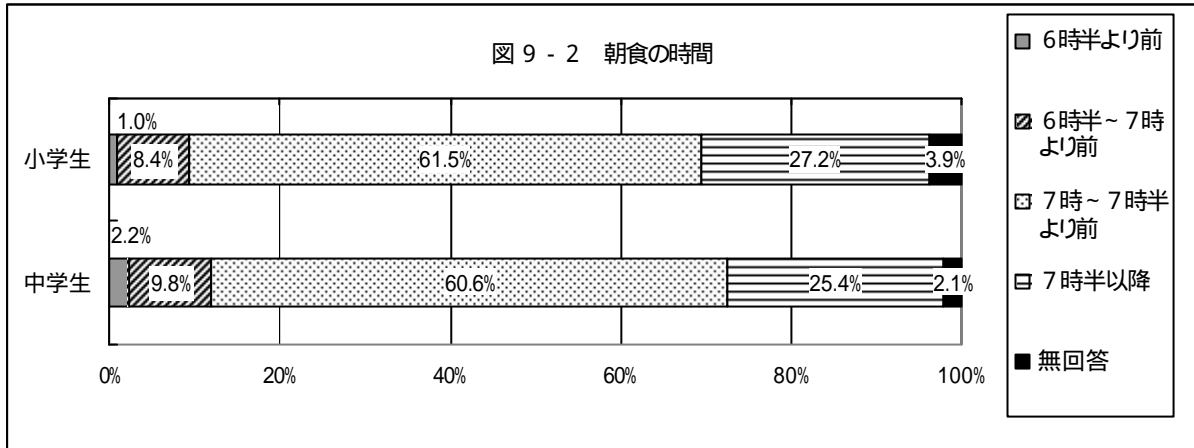




**問9 - 2 あなたは、朝食を何時ごろ食べますか。**

(前問9 - 1で、1 毎日食べる 2 食べる方が多い 3 食べない方が多いと答えた方のみ)

小・中学生とも「7時～7時半より前」の割合が、最も高い。また、小・中学生とも朝食を「7時前」に食べる割合が1割前後みられる。

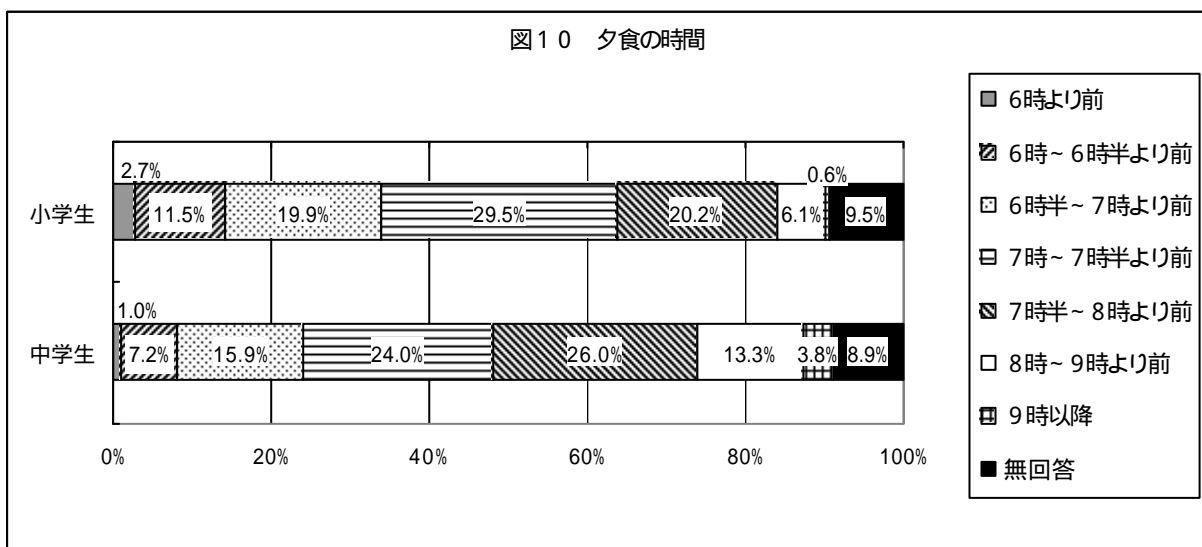


**問10 あなたは、夕食を何時ごろ食べ始めますか。**

小学生で最も高い割合は「7時～7時半より前」で29.5%、次いで「7時間半～8時より前」、「6時半～7時より前」、「6時～6時間半より前」の順である。

中学生は「7時半～8時より前」26.0%と「7時～7時半より前」24.0%とがほぼ拮抗している。次いで「6時半から7時より前」、「8時～9時より前」、「6時～6時間半より前」となっている。

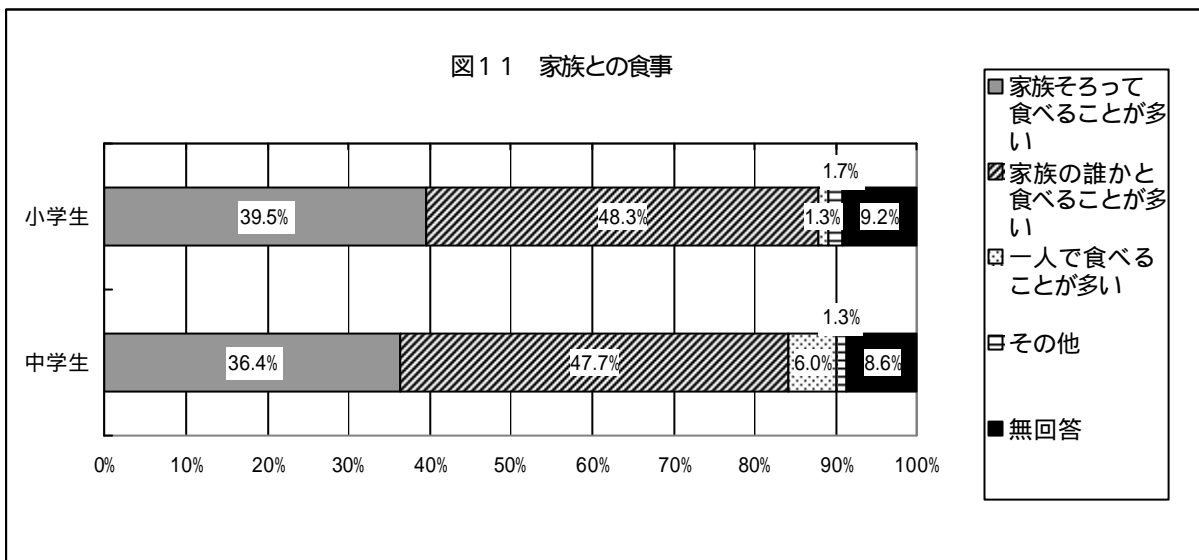
小・中学生とも朝食の時間と比較すると、食事の時間にばらつきがあることがわかる。



**問11 あなたは、ふだん家では家族と一緒に食事をしていきますか。**

小・中学生とも「家族の誰かと食べることが多い」、「家族そろって食べるが多い」の順である。その割合は、小・中学生とも「家族の誰かと食べるが多い」が5割弱、「家族そろって食べるが多い」が4割弱である。

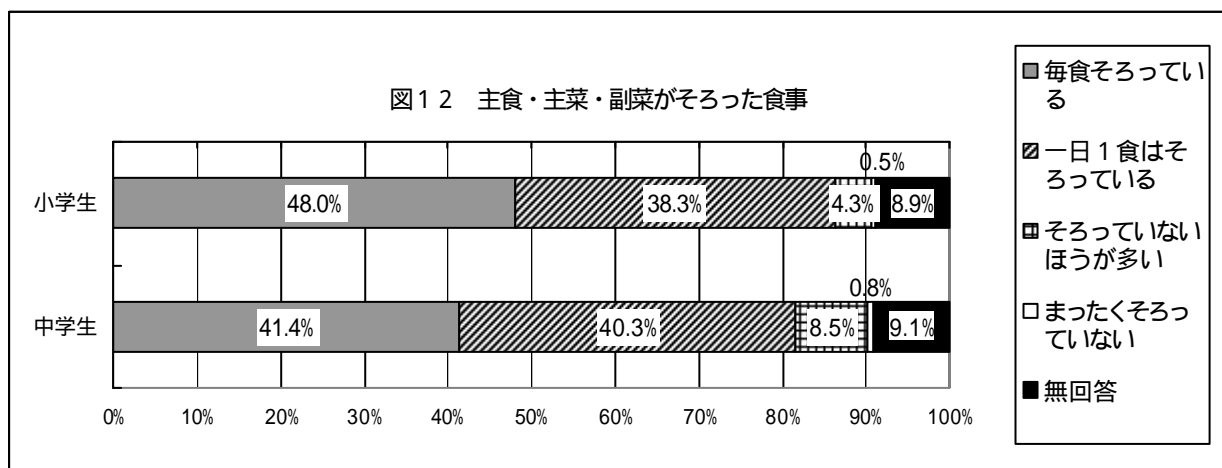
一方、「1人で食べるが多い」の割合が中学生では、6.0%ある。



**問12 あなたは、家での食事には、主食、主菜、副菜がそろっていますか。**

小学生は「毎食そろっている」の割合が48.0%、「1日1回はそろっている」が38.3%である。「まったくそろっていない」、「そろっていない方が多い」を合わせた割合は、4.8%みられる。

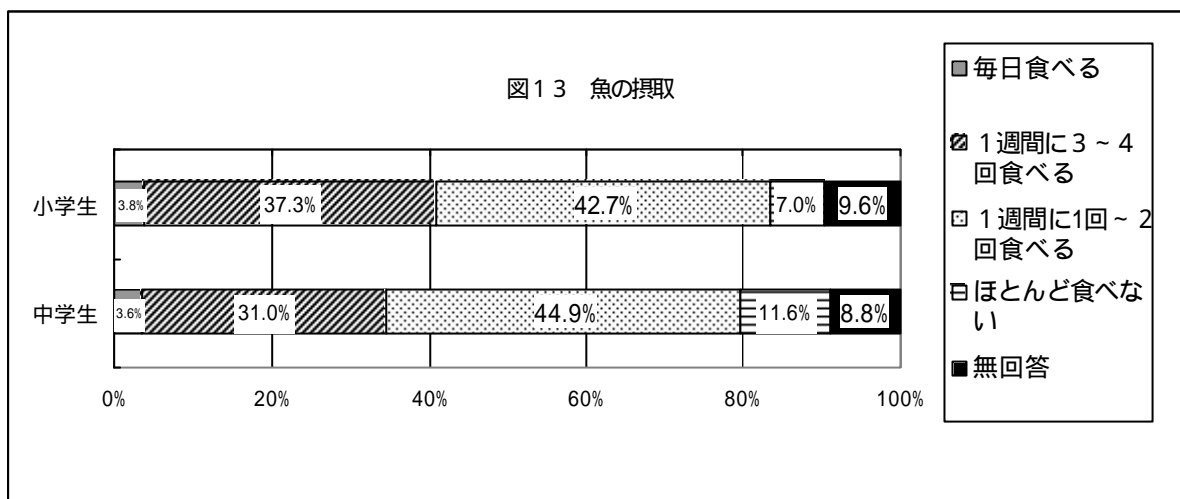
中学生は「毎食そろっている」の割合が41.4%、「1日1回はそろっている」が40.3%である。「まったくそろっていない」、「そろっていない方が多い」を合わせた割合は、9.3%と小学生のほぼ倍の割合である。



**問13 あなたは、家で魚を食べますか。**

「1週間1回～2回食べる」の割合が小学生42.7%、中学生44.9%でともに高い。次いで「1週間に3回～4回食べる」が、小学生で4割弱、中学生で3割程度みられる。

一方、小学生の7.0%、中学生の11.6%が、「ほとんど食べない」状況である。

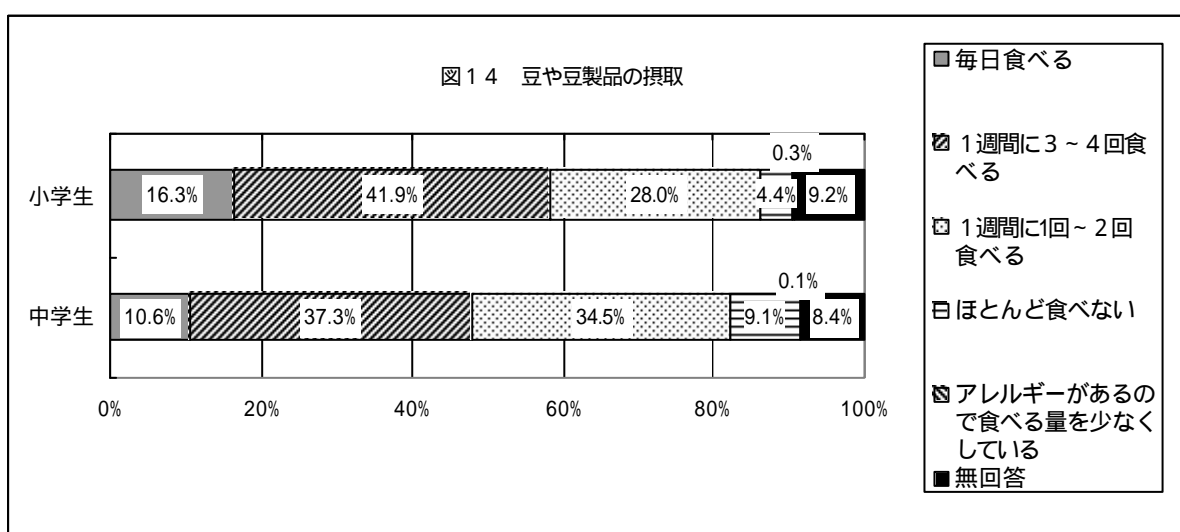


**問14 あなたは、家で納豆や豆腐・油揚げなどを食べますか。**

小・中学生ともに「1週間に3～4回食べる」割合が高く、それぞれ41.9%、37.3%である。次いで「1週間に1～2回食べる」が3割前後みられる。

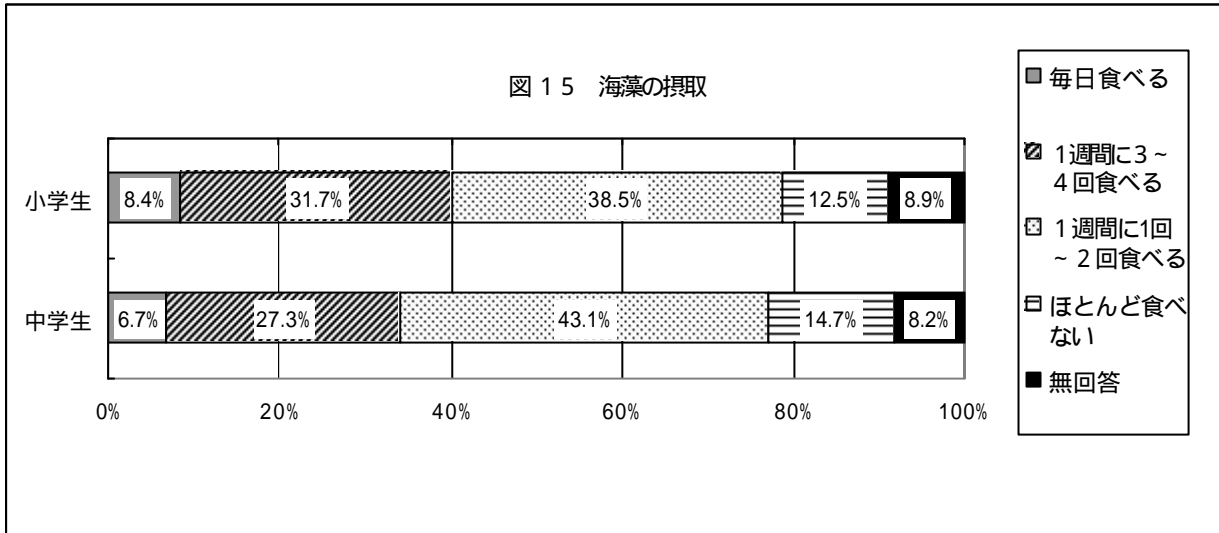
また、「毎日食べる」の割合が、小学生で16.3%、中学生で10.6%ある。

一方、中学生の1割弱に「ほとんど食べない」状況がみられるが、小・中学生ともに魚より高頻度に食している傾向にある。



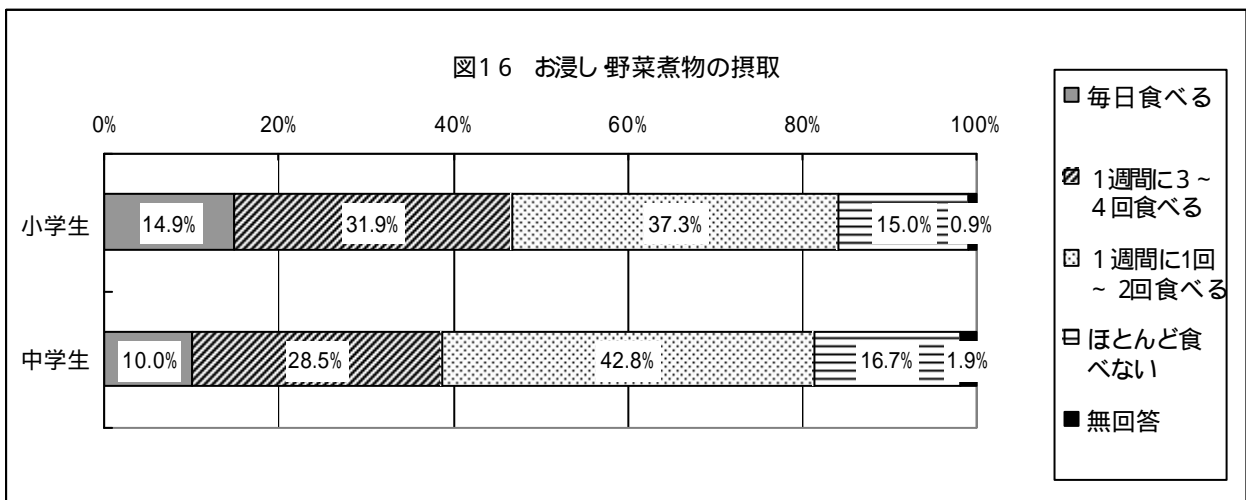
**問15 あなたは、家でわかめやひじきなどの海そうを食べますか。**

小・中学生ともに「1週間に1～2回食べる」の割合が、それぞれ38.5%、43.1%と最も高く、次いで「1週間に3～4回食べる」が3割残後みられる。  
 また、「毎日食べる」という割合も、小・中学生とも7～8%ある。  
 一方、「ほとんど食べない」の割合が、小・中学生とも1割強みられ、その割合は、魚や豆製品の場合と比較してやや高い。



**問16 あなたは、家でお浸しや野菜の煮物などを食べますか。**

小・中学生ともに「1週間に1～2回食べる」の割合が最も高く、小学生が37.3%、中学生が42.8%である。  
 次いで「1週間に3～4回」, 「ほとんど食べない」, 「毎日食べる」の順になっている。  
 お浸しや野菜の煮物などの和食メニューを「ほとんど食べない」割合は、小学生15.0%、中学生16.7%あり、魚・豆製品・海藻の場合と比較して高い。

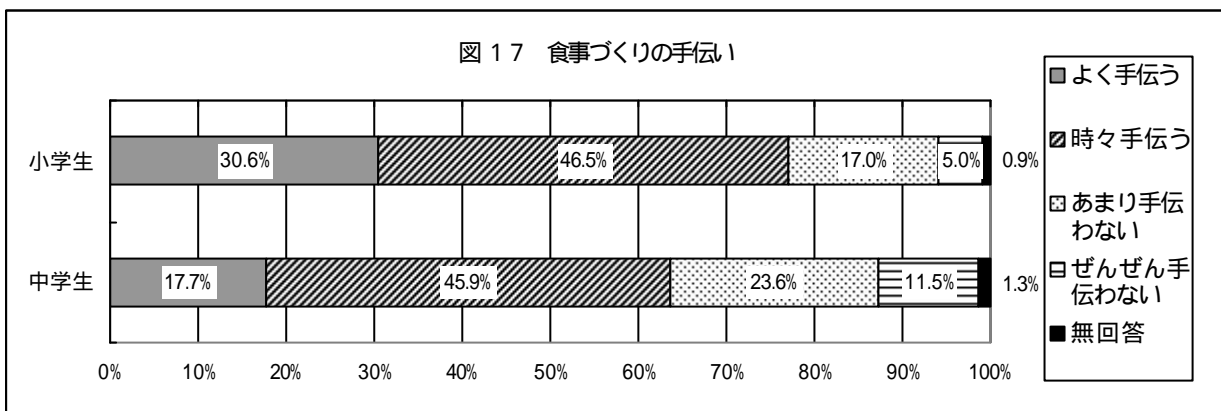


**問17 あなたは、家で食事づくりの手伝い(料理・買い物・後片づけなど)をしますか。**

「よく手伝う」、「時々手伝う」を合わせた割合は、小学生は77.1%、中学生は63.6%である。

一方、「あまり手伝わない」、「ぜんぜん手伝わない」を合わせた割合は、小学生は22.0%、中学生では35.1%である。

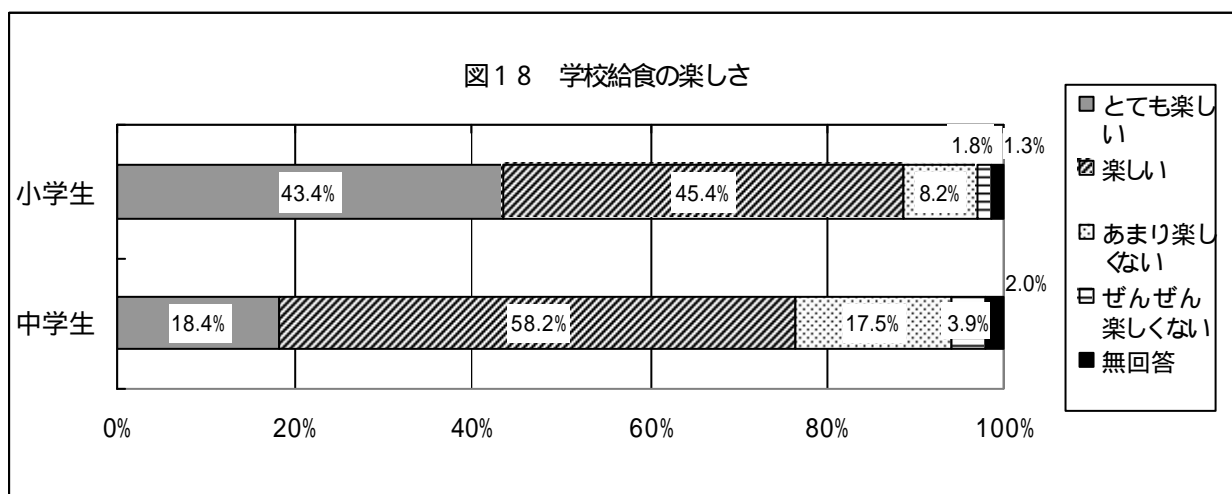
食事づくりの手伝いをする割合は、小学生の方が、中学生より高い。



**問18 あなたは、学校給食を楽しく食べていますか。**

「とても楽しい」と「楽しい」を合わせた割合は、小学生は88.8%、中学生は76.6%である。

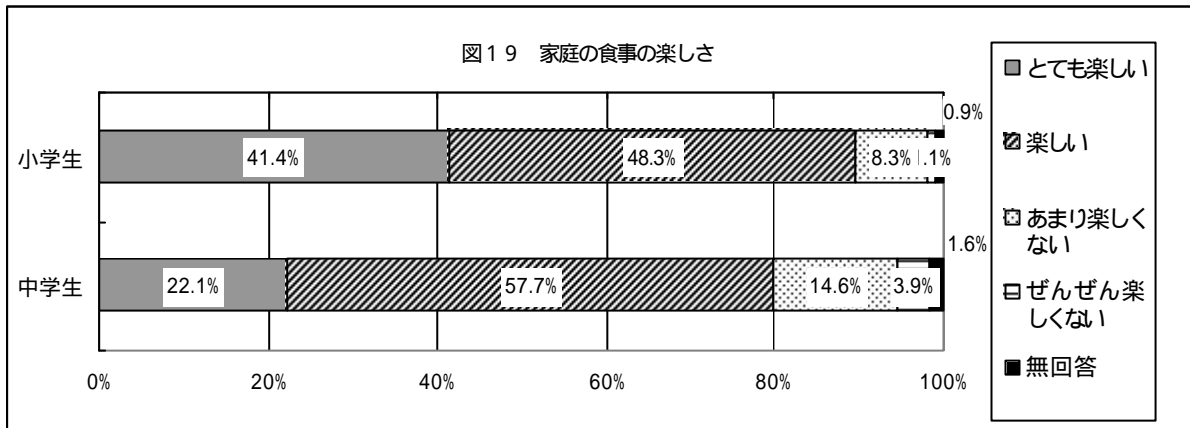
一方、「あまり楽しくない」、「ぜんぜん楽しくない」を合わせた割合は、小学生は10.0%、中学生は21.4%であり、小学生と比較して中学生の学校給食の楽しさの割合が低くなっている。



**問19 あなたは、家の食事を楽しく食べていますか。**

「とても楽しい」と「楽しい」を合わせた割合は、小学生は89.7%、中学生は79.8%で学校給食の楽しさとほぼ同じ傾向がみられる。

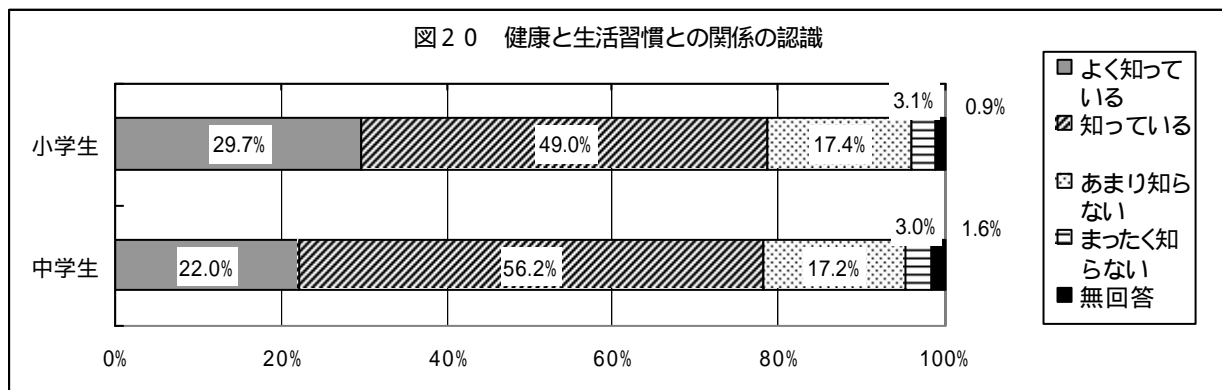
一方、「あまり楽しくない」と「ぜんぜん楽しくない」を合わせた割合は、小学生は9.4%、中学生では18.5%で、これについても学校給食と同じ傾向がみられる。



**6【生活習慣について】**

**問20 あなたは、健康には、毎日の食事、適度な運動、十分な睡眠などの生活習慣が深く関係していることを知っていますか。**

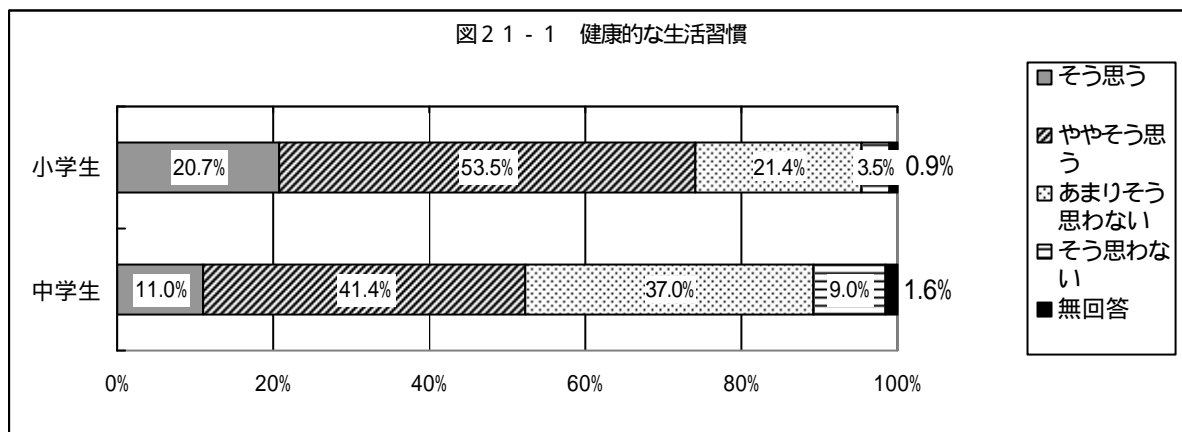
「よく知っている」と「知っている」を合わせた割合は、小・中学生とも8割弱である。一方、「あまり知らない」と「まったく知らない」を合わせた割合が、小・中学生も2割程度みられる。



**問21-1 あなたは、健康に過ごすために毎日の食事、適度な運動、十分な睡眠などの生活習慣が身についていると思いますか。**

「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた割合は、小学生は74.2%。中学生は、52.4%である。

一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、小学生は24.9%であるが、中学生は、46.0%と高い。



**問21-2 あなたが改善したいと思う自分の生活習慣は何ですか。**

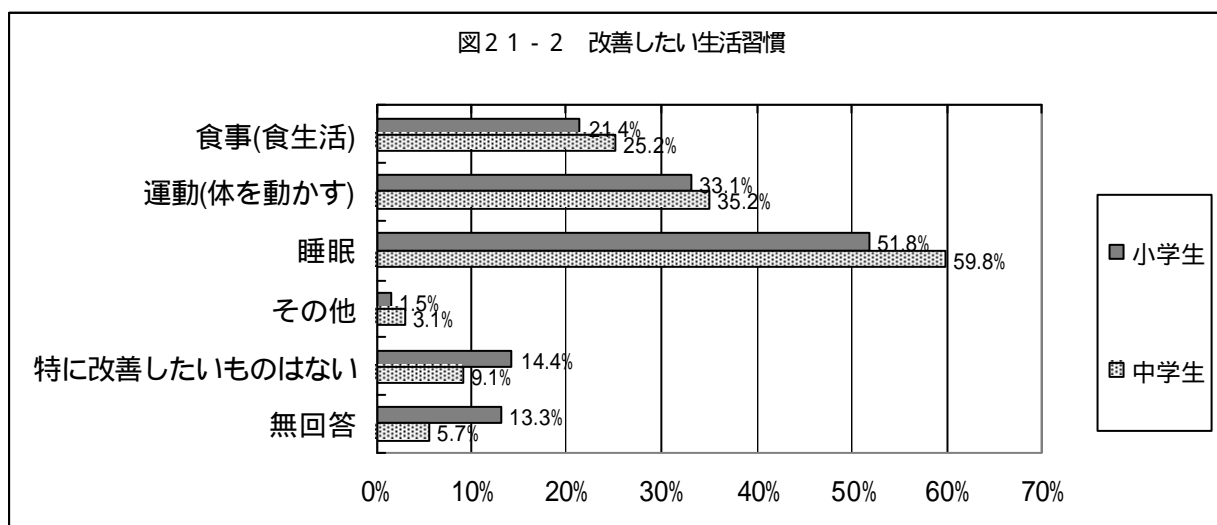
(前問21-1で、2 ややそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わないと答えた方のみ) (複数回答)

健康に過ごすための生活習慣が身についていると思っていない小・中学生が改善したいことでは、「睡眠」の割合が最も高く、それぞれ51.8%、59.8%である。

次いで「運動」、「食事」の順となっている。

健康的な生活習慣の中で特に「睡眠」を改善することが、小・中学生とも課題とされている。

一方、健康に過ごすための生活習慣が身についていると思っていないにもかかわらず、「特に改善したいものはない」が、小学生の14.4%、中学生の9.1%に見られる。



## 児童生徒の食生活に関するアンケート調査集計票

小中学校区分	小学校		中学校			
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)		
全配布人数	1549		1108			
回答人数/回収率	1409	91.0%	1048	94.6%		
問1 あなたは、今自分が健康だと思いますか。	1 とても健康である	625	44.4%	238	22.7%	
	2 普通	655	46.5%	628	59.9%	
	3 あまり健康ではない	29	2.1%	107	10.2%	
	4 わからない	52	3.7%	46	4.4%	
	無回答	48	3.4%	29	2.8%	
問2 次のうち、あてはまるものについては「はい」、そうでないものには「いいえ」に印をつけてください。	1 頭がおもい、ぼんやりする	はい	133	9.4%	252	24.0%
		いいえ	1259	89.4%	769	73.4%
		無回答	17	1.2%	27	2.6%
	2 体がだるい	はい	124	8.8%	302	28.8%
		いいえ	1264	89.7%	722	68.9%
		無回答	21	1.5%	24	2.3%
	3 ねむい	はい	476	33.8%	714	68.1%
		いいえ	917	65.1%	320	30.5%
		無回答	16	1.1%	14	1.3%
	4 イライラする	はい	216	15.3%	256	24.4%
		いいえ	1168	82.9%	766	73.1%
		無回答	25	1.8%	26	2.5%
	5 便秘または下痢をする	はい	178	12.6%	148	14.1%
		いいえ	1208	85.7%	870	83.0%
		無回答	23	1.6%	30	2.9%
	6 朝食 給食(昼食)・夕食の前にはお腹がす	はい	1071	76.0%	759	72.4%
		いいえ	321	22.8%	275	26.2%
		無回答	17	1.2%	14	1.3%
問3 次のうち、ふだんあなたが心がけているものに印をつけてください(いくつでも印)	1 睡眠を充分にとる	711	50.5%	402	38.4%	
	2 朝食を毎日食べる	1081	76.7%	709	67.7%	
	3 間食をしない	522	37.0%	213	20.3%	
	4 栄養のバランスや食べる量に気をつける	511	36.3%	265	25.3%	
	5 太りすぎない	628	44.6%	447	42.7%	
	6 やせすぎない	413	29.3%	222	21.2%	
	7 特にない	168	11.9%	181	17.3%	
	8 その他( )	23	1.6%	25	2.4%	
	無回答	5	0.4%	9	0.9%	
問4 あなたは、外でよく体を動かしますか。	はい	1000	71.0%	677	64.6%	
	いいえ	400	28.4%	358	34.2%	
	無回答	9	0.6%	13	1.2%	
問5 あなたは、ふだん学校の体育の授業以外に、何かスポーツをやっていますか。	1 毎日している	212	15.0%	210	20.0%	
	2 している日が多い	567	40.2%	453	43.2%	
	3 していない日が多い	507	36.0%	256	24.4%	
	4 していない	113	8.0%	120	11.5%	
	無回答	10	0.7%	9	0.9%	
問6 あなたは、登校日には何時ごろに寝ますか。	1 9時より前	76	5.4%	19	1.8%	
	2 9時台	624	44.3%	60	5.7%	
	3 10時台	580	41.2%	303	28.9%	
	4 11時台	108	7.7%	416	39.7%	
	5 0時台	9	0.6%	178	17.0%	
	6 1時以降	3	0.2%	62	5.9%	
	無回答	9	0.6%	10	1.0%	



問7 あなたは、登校日には何時間くらい寝ますか。	1 6時間未満	3	0.2%	61	5.8%
	2 6時間～7時間未満	39	2.8%	241	23.0%
	3 7時間～8時間未満	162	11.5%	390	37.2%
	4 8時間～9時間未満	500	35.5%	255	24.3%
	5 9時間～10時間未満	634	45.0%	76	7.3%
	6 10時間以上	63	4.5%	17	1.6%
	無回答	8	0.6%	8	0.8%
問8 あなたは、朝、目がすっきり覚めますか。	1 すっきり目が覚める	243	17.2%	67	6.4%
	2 少し眠い	797	56.6%	567	54.1%
	3 眠くてなかなか起きられない	240	17.0%	328	31.3%
	無回答	129	9.2%	86	8.2%
問9-1 あなたは、朝食を毎日食べますか。	1 毎日食べる	1126	79.9%	674	64.3%
	2 食べる方が多い	106	7.5%	175	16.7%
	3 食べない方が多い	31	2.2%	73	7.0%
	4 ほとんど食べない	17	1.2%	37	3.5%
	無回答	129	9.2%	89	8.5%
問9-2(1～3と答えた人だけ) あなたは、朝食を何時ごろ食べますか。	1 6時半より前	12	1.0%	20	2.2%
	2 6時半～7時より前	106	8.4%	90	9.8%
	3 7時～7時半より前	777	61.5%	559	60.6%
	4 7時半以降	343	27.2%	234	25.4%
	無回答	49	3.9%	19	2.1%
問10 あなたは、夕食を何時ごろ食べ始めますか。	1 6時より前	38	2.7%	11	1.0%
	2 6時～6時半より前	162	11.5%	75	7.2%
	3 6時半～7時より前	281	19.9%	167	15.9%
	4 7時～7時半より前	416	29.5%	251	24.0%
	5 7時半～8時より前	284	20.2%	272	26.0%
	6 8時～9時より前	86	6.1%	139	13.3%
	7 9時以降	8	0.6%	40	3.8%
	無回答	134	9.5%	93	8.9%
問11 あなたは、ふだん家で家族と一緒に食事をしていますか。	1 家族そろって食べることが多い	557	39.5%	381	36.4%
	2 家族の誰かと食べる人が多い	681	48.3%	500	47.7%
	3 一人で食べる人が多い	19	1.3%	63	6.0%
	4 その他( )	24	1.7%	14	1.3%
	無回答	129	9.2%	90	8.6%
問12 あなたは、家での食事には、主食、主菜、副菜がそろっていますか。	1 毎食そろっている	676	48.0%	434	41.4%
	2 一日1食はそろっている	540	38.3%	422	40.3%
	3 そろっていないほうが多い	61	4.3%	89	8.5%
	4 まったくそろっていない	7	0.5%	8	0.8%
	無回答	125	8.9%	95	9.1%
問13 あなたは、家で魚を食べますか。	1 毎日食べる	53	3.8%	38	3.6%
	2 1週間に3～4回食べる	525	37.3%	325	31.0%
	3 1週間に1回～2回食べる	602	42.7%	471	44.9%
	4 ほとんど食べない	99	7.0%	122	11.6%
	無回答	135	9.6%	92	8.8%
問14 あなたは、家で納豆や豆腐、揚げなどを食べますか。	1 毎日食べる	229	16.3%	111	10.6%
	2 1週間に3～4回食べる	591	41.9%	391	37.3%
	3 1週間に1回～2回食べる	394	28.0%	362	34.5%
	4 ほとんど食べない	62	4.4%	95	9.1%
	5 アレルギーがあるので食べる	4	0.3%	1	0.1%
	無回答	129	9.2%	88	8.4%
問15 あなたは、家でわかめやひじきなどの海そうを食べますか。	1 毎日食べる	118	8.4%	70	6.7%
	2 1週間に3～4回食べる	447	31.7%	286	27.3%
	3 1週間に1回～2回食べる	542	38.5%	452	43.1%
	4 ほとんど食べない	176	12.5%	154	14.7%
	無回答	126	8.9%	86	8.2%

問 16 あなたは、家 でお浸しや野菜の煮 物などを食べます か。	1 毎日食べる	210	14.9%	105	10.0%
	2 1週間に3~ 4回食べる	450	31.9%	299	28.5%
	3 1週間に1回~ 2回食べる	525	37.3%	449	42.8%
	4 ほとんど食べない	212	15.0%	175	16.7%
	無回答	12	0.9%	20	1.9%
問 17 あなたは、家 で食事づくりの手伝 いをしますか	1 よく手伝う	431	30.6%	186	17.7%
	2 時々手伝う	655	46.5%	481	45.9%
	3 あまり手伝わない	239	17.0%	247	23.6%
	4 ぜんぜん手伝わない	71	5.0%	120	11.5%
	無回答	13	0.9%	14	1.3%
問 18 あなたは、学 校給食を楽しく食べ ていますか。	1 とても楽しい	612	43.4%	193	18.4%
	2 楽しい	639	45.4%	610	58.2%
	3 あまり楽しくない	115	8.2%	183	17.5%
	4 ぜんぜん楽しくない	25	1.8%	41	3.9%
	無回答	18	1.3%	21	2.0%
問 19 あなたは、家 の食事を楽しく食べ ていますか	1 とても楽しい	584	41.4%	232	22.1%
	2 楽しい	680	48.3%	605	57.7%
	3 あまり楽しくない	117	8.3%	153	14.6%
	4 ぜんぜん楽しくない	15	1.1%	41	3.9%
	無回答	13	0.9%	17	1.6%
問 20 あなたは、 健康には、毎日の食 事、適度な運動、十 分な睡眠などの生活 習慣が深く関係して いることを知っていま	1 よく知っている	418	29.7%	231	22.0%
	2 知っている	691	49.0%	589	56.2%
	3 あまり知らない	245	17.4%	180	17.2%
	4 まったく知らない	43	3.1%	31	3.0%
	無回答	12	0.9%	17	1.6%
問 21- 1 あなたは、問 20の生 活習慣が身について いると思いますか。	1 そう思う	291	20.7%	115	11.0%
	2 ややそう思う	754	53.5%	434	41.4%
	3 あまりそう思わない	302	21.4%	388	37.0%
	4 そう思わない	50	3.5%	94	9.0%
	無回答	12	0.9%	17	1.6%
問 21- 2 (2~ 4と 答えた人だけ) あなたが改善したい と思う自分の生活習 慣は何ですか。(いく つでも 印)	1 食事(食生活)	237	21.4%	231	25.2%
	2 運動(体を動かす)	366	33.1%	322	35.2%
	3 睡眠	573	51.8%	548	59.8%
	4 その他( )	17	1.5%	28	3.1%
	5 特に改善したいものはない	159	14.4%	83	9.1%
無回答	147	13.3%	52	5.7%	

# 衛生管理チェックリスト（日常点検票）

学校名 \_\_\_\_\_ 校長検印 \_\_\_\_\_ 平成 年 月 日

天気 \_\_\_\_\_ 気温 \_\_\_\_\_ ℃ 調理前調理室の温度・湿度 \_\_\_\_\_ ℃ \_\_\_\_\_ % 調理中の温度・湿度 \_\_\_\_\_ ℃ \_\_\_\_\_ %

		衛生管理チェック項目	備考
作業	学校給食従事者	健康状態	<input type="checkbox"/> 下痢をしている者はいない。
		<input type="checkbox"/> 発熱、腹痛、嘔吐をしている者はいない。	
		<input type="checkbox"/> 本人もしくは同居者に1～3類感染症又はその疑いがある者はいない。	
		<input type="checkbox"/> 1～3類感染症の保菌者はいない。	
		<input type="checkbox"/> 手指・顔面に傷のある者はいない。	
		<input type="checkbox"/> 手指・顔面にできもののある者はいない。	
	服装等	<input type="checkbox"/> 調理衣・エプロン・マスク・髪覆いは清潔である。	
		<input type="checkbox"/> 履物は清潔である。	
		<input type="checkbox"/> 適切な服装をしている。(毛髪を髪覆いの中に入れる、マスクを鼻の上までする等)	
		<input type="checkbox"/> 爪は短く切り、指輪・マニキュアをしていない。	
手洗	<input type="checkbox"/> 石鹼及び消毒薬で手洗いを行った。		
施設	設備	<input type="checkbox"/> 調理室内の清掃・清潔状態は良い。	故障の機械・器具名及び箇所
		<input type="checkbox"/> 調理室には、調理作業に不必要な物品を置いていない。	
		<input type="checkbox"/> 調理機器・器具は清潔である。	
		<input type="checkbox"/> 機器・器具の保守、故障の有無、故障の機器及び箇所名を確認した。	
		<input type="checkbox"/> 冷蔵庫(5℃以下)・牛乳保冷庫(5℃)・冷凍庫(-20℃以下)の温度は適切である。	
		<input type="checkbox"/> 食器・食缶等の保管場所は清潔である。	
		<input type="checkbox"/> 主食置場、容器は清潔である。	学校教育分野に連絡した・しない
		<input type="checkbox"/> 床、排水溝は清潔である。	
		<input type="checkbox"/> 手洗い施設の石鹼、消毒薬、ペーパータオル等は十分にある。	
		<input type="checkbox"/> 冷蔵庫内は整理整頓され、清潔である。	
前使用水	<input type="checkbox"/> ネズミ及びハエ、ゴキブリ等、衛生害虫は出ない。		
	<input type="checkbox"/> 作業前に充分(5分間程度)流水した。	(異常あり・異常なし) (            mg/l)	
	<input type="checkbox"/> 使用水の外観(色・濁り)、臭い、味を確認した。		
<input type="checkbox"/> 遊離残留塩素を確認(0.1mg/l以上)し、記録した。			
作業	下処理	<input type="checkbox"/> ゴム前掛け等は下処理専用を使用している。	下処理開始 時 分 下処理終了 時 分
		<input type="checkbox"/> 魚介類・食肉類等食材ごとに専用容器・器具で下処理した。	
		<input type="checkbox"/> 下処理終了後、容器・器具の洗浄・消毒を確実にを行った。	
		<input type="checkbox"/> 野菜類は流水で十分に洗浄した。	
		<input type="checkbox"/> 食品を入れた容器を直接床に置いていない。	
業中	調理時	<input type="checkbox"/> 魚介類・食肉類、卵殻等を取り扱った手指は洗浄・消毒した。	調理開始 時 分  調理終了 時 分
		<input type="checkbox"/> 作業区分ごとに手指は洗浄・消毒した。	
		<input type="checkbox"/> 調理機器・器具は食品・処理別に専用のものを使用した。	
		<input type="checkbox"/> まな板・包丁は用途別及び食品(種類)別に用意し、混同しないように使用した。	
		<input type="checkbox"/> 加熱を充分に行ったことを確認し、温度と時間を記録した。	
		<input type="checkbox"/> 加熱調理においては、中心部まで十分に加熱し(75℃以上、1分間)、その温度と時間を記録した。	
		<input type="checkbox"/> 加熱処理後冷却した食品は、適切に温度管理し、過程ごとの温度と時間を記録した。	
<input type="checkbox"/> 生食する果物等は特に衛生的に取り扱った。			

作業中	水	<input type="checkbox"/> 食品を水で冷却する場合は、遊離残留塩素について確認し、そのときの温度と時間を記録した。	
	保存食	<input type="checkbox"/> 原材料、調理完成品ごとにすべての飲食物を50gずつ採取した。	
		<input type="checkbox"/> 保存食容器(ビニール袋等)及び使用器具は清潔である。	
		<input type="checkbox"/> 乾燥しないように完全密封し、-20℃以下の冷凍庫に保存した。	
		<input type="checkbox"/> 保存食について採取年月日を記録した。	
中食	<input type="checkbox"/> 配食前、手指を洗浄・消毒した。		配缶開始 時 分
	<input type="checkbox"/> 配膳前に検食を渡した。		
	<input type="checkbox"/> 使い捨てマスクを使用している。		配缶終了 時 分
	<input type="checkbox"/> 飲食物の運搬には、ふたを使用した。		
	<input type="checkbox"/> 食缶を直接床に置いていない。		
作業後	配膳・運搬	<input type="checkbox"/> 調理終了後の食品は二次汚染を防止するため適切に保管した。	配膳時間 1階 2階 3階 4階
		<input type="checkbox"/> 調理終了後、速やかに喫食されるよう運搬にかかる時間は適切である(2時間以内)	
		<input type="checkbox"/> 配膳の記録をした。	
	水	<input type="checkbox"/> 配膳前に使用水の外観(色・濁り)、臭い、味を確認した。	(異常あり・異常なし) (                    mg/l)
		<input type="checkbox"/> 配膳前に遊離残留塩素を確認(0.1mg/l以上)し、記録した。	
	作業後	機器等の洗浄消毒	<input type="checkbox"/> 器具・容器等の使用後の洗浄・消毒は、全ての食品が調理場内から搬出された後に行った。
<input type="checkbox"/> 食器・食缶の下洗いを適切に行った。			
<input type="checkbox"/> 食器・食缶の洗浄・消毒は十分に行った。			
<input type="checkbox"/> 調理機器・器具の洗浄・消毒は確実に行った。			
<input type="checkbox"/> 石けんの濃度及び使用量は適切である。			
<input type="checkbox"/> 次亜塩素酸ナトリウム希釈液の濃度・作成量は適切である。			
作業後	整理清掃	<input type="checkbox"/> 油・油かす等は調理室以外の一定の場所に整理整頓されている。	
		<input type="checkbox"/> 床を十分に清掃・洗浄した。	
		<input type="checkbox"/> 排水溝を十分に清掃・洗浄した。	
		<input type="checkbox"/> 手洗い器・蛇口・水栓を清掃・洗浄し、次亜塩素酸ナトリウムで消毒した。	
作業後	残菜等処理	<input type="checkbox"/> 返却された残渣は、非汚染区域に持ち込んでいない。	
		<input type="checkbox"/> 残渣の処理は適切に行った。	
		<input type="checkbox"/> あきかん、あきびん等は清潔に処理されている。	
		<input type="checkbox"/> その他の廃品の処理は適切に行った。	
作業後	食品庫	<input type="checkbox"/> 食材料は整理整頓されている。	
		<input type="checkbox"/> 給食物資以外のものは入れていない。	
		<input type="checkbox"/> 通風、温度、湿気の状態はよく、ネズミや衛生害虫等はいない。	
作業後	便所その他	<input type="checkbox"/> 便所に石けん及び消毒薬は十分にある。	立ち入った部外者名 (栄養士以外) (                    )
		<input type="checkbox"/> 便所に行くときは、作業衣、履き物等は脱いだ。	
		<input type="checkbox"/> 用便後の手指は確実に洗浄・消毒した。	
		<input type="checkbox"/> 部外者は立ち入らなかった。	
		<input type="checkbox"/> 部外者が立ち入ったが、衛生的な服装であった。	

## 平成18年度中野区学校給食標準献立の作成方針

### 1. 栄養量

「児童生徒1人1回当たりの平均栄養所要量の基準」を満たし、適切なものであること。

特に

- ① 動物性たんぱく質及び脂質の過剰摂取に留意する。
- ② 栄養比率（PFC）のバランスを適切にする。  
炭水化物エネルギー比率55%以上 穀物エネルギー比率45%以上  
たんぱく質エネルギー比率15～17%  
脂肪エネルギー比率25～30%（18年度は27.5%を目指す）
- ③ 食塩相当量を基準内におさめるよう心がける。
- ④ 栄養所要量の基準を満たしていない鉄・食物繊維の摂取に心がける。

### 2. 食品構成

平成16年3月11日付、15中教学第3164号による。

「豆類」・「きのこ類」・「藻類」の摂取量については、戻しの量として把握する。

### 3. 献立

- (1) 望ましい食習慣や食文化を体得でき、かつ日常の食事のモデルとなるものとする。
- (2) 児童生徒の健康課題に対応した献立にする。
- (3) 献立は、「主食1品+主菜1品+副菜1～2品+（果物）+牛乳」の形態を原則とし、組み合わせが適切で調和がとれたものとする（全体の献立の70%を目指す）。
- (4) 混ぜご飯の回数を減らして白飯を増やし、主菜+副菜を強調した献立とする。調理加工パンについても同様である
- (5) 毎月第二木曜日には、国内産小麦粉使用の学校給食パン（食パン）を使用する。
- (6) 毎月第二金曜日をカミカミデーとし、口の機能を高め、かみ応えのあるメニューを提供する。
- (7) 加熱調理を原則とするが、献立が単調にならないよう配慮する。
- (8) 極端に食品数（特に野菜）が少なくないように配慮する。
- (9) 食事に対する興味と関心を持ち、喜んで食べる楽しい食事であるよう努める。

### 4. 食材料の選定基準

- (1) できる限り地産地消や国産の旬の食材料を使用し、良質で新鮮なものを選定する。しかし、端境期や物価の高騰期を除いてはこの限りではない。
- (2) 不必要な食品添加物（着色料、漂白剤、発色剤、保存料）を使用した食品や遺伝子組み換え食品は、可能な限り避ける。さらに残留農薬についても配慮する。
- (3) 食品衛生法に適合して食材を用いるほか、内容表示、賞味期限、製造者等が適切、あるいは明らかかなものを用いる。
- (4) 料理は、素材を用いて手作りし、原則として調理加工食品類を使用しない（ハンバーグ・グラタン・しゅうまい・プリンなど）。
- (5) 出し汁は、削り節・昆布・豚骨・鶏骨を用いて抽出する。既製のだしの素・スープストック・化学調味料を使用しない。
- (6) ホワイトルーやカレールーは、給食室で作り、既製品を使わない。
- (7) 食材は、缶詰・乾物・調味料等常温で保存可能なものを除いては、一回で使い切る量を当日の朝納品してもらう。

### 5. 調理

- (1) 気配りした調理と薄味でおいしい食事となるよう心がける。
- (2) 食材料本来の持ち味を生かす。
- (3) 適時適温給食に努める。

## 中野区食品安全委員会条例

### (設置)

第1条 中野区における食品の安全にかかる施策の充実を図り、区民の健康を増進するため、区長の附属機関として中野区食品安全委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、区長の諮問に応じ、食品の安全確保に関する重要な事項について調査審議する。

2 委員会は、食品の安全確保を推進するために必要な事項について、区長に意見を述べることができる。

### (組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者のうちから区長が委嘱する委員15人以内をもって組織する。

- (1) 学識経験者
- (2) 営業者団体が推薦する者
- (3) 消費者団体が推薦する者
- (4) 公募による区民

2 特別の事項を調査審議するため必要があるときは、委員会に臨時委員を置くことができる。

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けたときは、補欠委員を置くことができる。補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (会長)

第5条 委員会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

### (会議)

第6条 委員会は、会長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 委員会の会議は、公開とする。ただし、個人情報保護等の必要があると認めるときは、非公開とすることができる。

### (委任)

第7条 この条例の施行について必要な事項は、区長が定める。

### 附 則

この条例は、平成5年4月1日から施行する。

中野区食品安全委員会委員名簿

	氏 名	推薦団体名・役職等
学識経験者	会長 稲葉 裕	順天堂大学医学部教授
	会長職務代理 丸井 英二	順天堂大学医学部教授
	渡辺 多加子	国民生活センター 相談調査部主任研究員
公募区民	小林 尚美	公募区民 15歳以下の子を持つ親
	橋本 知子	公募区民 15歳以下の子を持つ親
	芝山 永康	公募区民
	西山 あけ美	公募区民
消費者団体等代表	和田 幸恵	中野区消費者団体連絡会
	貞弘 優子	中野区消費者団体連絡会
	大園 久美子	小学校 PTA 連合会 副会長
営業者団体等代表	柳 萬治	中野区食品衛生協会 会長
	加藤 二三雄	中野区食品衛生協会 会長代行 (平成17年11月から 平成18年6月まで)
	佐藤 恭脩	中野区食品衛生協会 会長代行 (平成18年6月から)
	飯島 孝嘉	中野区商店街連合会
	松本 明	コンビニエンスストア
	笹本 容子	フリー活動栄養士会

中野区食品安全委員会起草委員会名簿

氏名	区分	推薦・所属団体等
丸井 英二	学識経験者	順天堂大学
渡辺 多加子	学識経験者	国民生活センター
橋本 知子	公募による区民	15歳以下の子を持つ親
和田 幸恵	消費者団体が推薦する者	中野区消費者団体連絡会
松本 明	営業者団体が推薦する者	コンビニエンスストア
笹本 容子	営業者団体が推薦する者	フリー活動栄養士会



中野区食品安全委員会審議経過

回数	開催年月日	審議内容及び主な提供資料
1	平成17年11月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員の委嘱</li> <li>会長の互選</li> <li>諮問</li> <li>委員会の運営について</li> <li>諮問事項に関する意見交換</li> </ul> <b>【提供資料】</b> 食品安全委員会第1期、第2期答申第3期報告
2	平成17年12月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>中野区の食品安全・安心確保対策のための基本方針に盛り込むべき考え方についての検討</li> </ul> <b>【提供資料】</b> ①食事バランスガイド見本 ②平成17年児童生徒の食生活に関するアンケート調査 ③区立小中学校食育の現状報告
3	平成18年2月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>中野区の食品安全・安心確保対策のための基本方針に盛り込むべき考え方についての検討</li> </ul> <b>【提供資料】</b> ホームページ資料（食品衛生協会・中野区商店街連合会・中野区食品安全委員会）
4	平成18年4月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>中野区の食品安全・安心確保対策のための基本方針に盛り込むべき考え方についての検討</li> </ul> <b>【提供資料】</b> 全頭検査についてのアンケート調査
5	平成18年5月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民・事業者・行政の連携によるリスクコミュニケーションの推進についての検討</li> <li>起草委員の選出</li> </ul>
6	平成18年6月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者自ら作る食品の安全確保システムの確立について</li> <li>新委員の委嘱</li> </ul> <b>【提供資料】</b> ①総合衛生管理製造過程承認制度について ②牛肉のトレーサビリティについて
7	平成18年7月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間のまとめについての検討</li> </ul> <b>【提供資料】</b> ①2006 中野区政世論調査 ②学校給食について
8	平成18年10月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間のまとめ案の了承</li> <li>最終答申について</li> </ul>
9	平成19年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>答申</li> </ul>

## 起草委員会検討経過

回数	開催年月日	内 容
1	平成 18 年 9 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・起草委員会の進め方について</li><li>・中間のまとめ案の検討</li></ul>
2	平成 18 年 11 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・中間のまとめ案の承認</li><li>・第 4 期答申に盛り込む内容について</li></ul>
3	平成 18 年 12 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・第 4 期答申案の検討</li></ul>
4	平成 19 年 2 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・第 4 期答申案の検討</li></ul>

## 中野区食品安全委員会幹事名簿

所 属	氏 名	備 考
保健福祉部長	金野 晃	平成18年12月11日から
	菅野泰一	平成17年11月から 平成18年12月10日まで
中野区保健所長	浦山京子	平成18年4月1日から
	清水裕幸	平成17年11月から 平成18年 3月まで
保健予防担当参事	深澤啓治	平成17年11月から
生活衛生担当課長	飯塚太郎	平成17年11月から
保健福祉部経営担当課長	寺嶋誠一郎	平成17年11月から
学校教育担当参事	大沼 弘	平成18年4月から
学校教育担当課長	相沢明郎	平成17年11月から 平成18年 3月まで
産業振興担当参事	鈴木由美子	平成18年4月から
産業振興担当課長	鳥井文哉	平成17年11月から 平成18年 3月まで
健康・高齢担当課長	今 恵里	平成18年4月1日から
健康づくり担当課長		平成17年11月から 平成18年 3月まで
南部保健福祉センター所長	深山紀子	平成17年11月から
保育園・幼稚園担当課長	合川 昭	平成18年12月11日から
保育園・幼稚園担当課長	竹内 沖司	平成18年 4月から 平成18年12月10日まで
保育サービス担当課長		平成17年11月から 平成18年 3月まで